

官報

號外

大正三年十二月十六日

水曜日

印刷局

第三十五回 帝國議會 衆議院議事速記録第六號

大正三年十二月十五日(火曜日)午後一時二十二分開議

議事日程 第五號 大正三年十二月十五日
午後一時開議

質問

- 一 米價調節ニ關スル質問(小西和君外一名提出)
- 二 東京帝國大學醫科大學教授ノ職責ニ關スル質問(若杉喜三郎君提出)
- 三 銀行業取締ニ關スル質問(八木逸郎君提出)
- 四 傳染病研究所移管ニ關スル質問(八木逸郎君提出)
- 五 山陰鐵道建設事業ノ進止ニ關スル質問(恒松隆慶君提出)

- 第一 鑛業法中改正法律案(清水市太郎君外二名提出) 第一讀會
- 第二 酒造稅法中改正法律案(三輪市太郎君外一名提出) 第一讀會
- 第三 齒科醫師法中改正法律案(清水市太郎君外一名提出) 第一讀會
- 第四 運河法中改正法律案(齋藤桂次君外三名提出) 第一讀會
- 第五 印紙稅法中改正法律案(中小路與平治君外一名提出) 第一讀會
- 第六 實用新案法中改正法律案(伊東知也君外二名提出) 第一讀會
- 第七 清國及朝鮮國在留帝國臣民取締法廢止法律案(此助君外一名提出) 第一讀會

- 第八 東方調查局設置ニ關スル建議案(伊東知也君提出)
- 第九 名古屋富山間鐵道建設ニ關スル建議案(三輪市太郎君外三名提出)
- 第十 三國港護岸施工ニ關スル建議案(齋谷五右衛門君外二名提出)
- 第十一 置賜輕便鐵道建設ニ關スル建議案(長崎登君外五名提出)
- 第十二 村山平野輕便鐵道建設ニ關スル建議案(長崎登君外五名提出)
- 第十三 上白鐵道建設ニ關スル建議案(長崎登君外六名提出)
- 第十四 港灣政務統一ニ關スル建議案(守屋此助君外一名提出)

○議長(奧繁三郎君) 諸般ノ報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

官報號外

大正三年十二月十六日(明治三十五年第三種郵便物認可)

衆議院議事速記録第六號 議長ノ報告

五九

大嘗祭齋田ノ土地免租ニ關スル法律案

(第一號)大正四年度歲入歲出總豫算追加案

(第二號)大正四年度歲入歲出總豫算追加案

(特第一號)大正四年度各特別會計歲入歲出豫算追加案

一 政府ヨリ受領シタル答辯書左ノ如シ

輸出生絲及羽二重ニ關スル質問(加藤外務大臣)

大正三年十二月十五日 內閣總理大臣伯爵大隈重信

衆議院議員武藤金吉君提出輸出生絲及羽二重ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員武藤金吉君提出輸出生絲及羽二重ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一 英國政府カ我輸出生絲及羽二重ノ輸入ヲ禁シタル事實ナシ

一 英國政府カ英國商船ニ生絲及羽二重ヲ搭載ヲ禁シタル事實ナシ

右及答辯候也

大正三年十二月十五日 外務大臣男爵加藤高明

一 議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

地租條例中改正法律案

提出者 人見米次郎君

小西 和君

棉花栽培獎勵ニ關スル建議案

提出者 井上篤太郎君

田邊 熊一君

刑法中改正法律案

提出者 宮古啓三郎君

松田 源治君

宮古啓三郎君

高木益太郎君

高野金重君

石田仁太郎君

松田 源治君

高木益太郎君

高野金重君

石田仁太郎君

大阪臨港鐵道速成ニ關スル建議案

提出者 三谷 軌秀君

植岡 義一君

本出保太郎君

吉植庄一郎君

秋岡 義一君

織物消費稅法中改正法律案

提出者 小林 源藏君

武藤 金吉君

森久保 作藏君

岡田 泰藏君

決議案

提出者 元田 肇君 大岡 育造君 岡崎 邦輔君
床次竹二郎君 永江 純一君 犬養 毅君

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ
選舉人名簿調査ニ關スル質問

提出者 原 眞 澄君
對支外交ニ關スル質問

提出者 伊東 知也君
內閣總理大臣ノ官紀紊亂ニ關スル質問

提出者 橫田 千之助君
一昨十四日左ノ通發令相成候旨通牒ヲ受領セリ
北海道廳土木部長 橋本 正 治

內務省所管事務政府委員被仰付
（左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス）
一去年十二月議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

治水費資金特別會計法廢止法律案
阿部 德三郎君 高橋 光威君 大久保 弁太郎君
葉住 利藏君 加藤 新次郎君 須藤 嘉吉君
川上 淳一郎君 平野 龜之助君 森田 小六郎君

軍人恩給法中改正法律案
森 茂生君 漆 昌 巖君 岩崎 總十郎君
木津 太郎平君 丸尾 光春君 神藤 才一君
齋藤 宇一郎君 村松 恆一郎君 村田 虎次郎君

市制中改正法律案外一件
小出 五郎君 永見 寛二君 高津 仲次郎君
一坂 俊太郎君 樋口 喜輔君 井上 廣居君
安東 敏之君 犬飼 源太郎君 高野 金重君

印紙稅法中改正法律案
三谷 軌秀君 濱本 義顯君 小山田 信藏君
春田 祐清君 長谷川 敬一郎君 野村 嘉六君
柵瀬 軍之佐君 中小路 與平治君 石橋 爲之助君

常任委員異動 決算委員（第三部）田中善立君辭任ニ付其補闕トシテ平出喜三郎君選舉セラレタリ
一委員長及理事左ノ適當選セラレタリ

治水費資金特別會計法廢止法律案委員會
委員長 阿部 德三郎君 理事 大久保 弁太郎君
委員 森 茂生君 理事 村松 恆一郎君

軍人恩給法中改正法律案委員會
委員長 森 茂生君 理事 村松 恆一郎君
印紙稅法中改正法律案委員會
委員長 三谷 軌秀君 理事 中小路 與平治君

（左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス）
米價調節ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也

大正三年十二月七日

提出者 小西 和 中小路 與平治
贊成者 土方 千種 外三十一人

米價調節ニ關スル質問主意書
現下米價ノ低廉ニ苦シムモノハ當ニ一般農民ノミニ止ラス其ノ影響ハ延テ他ノ商工業者ニ及ヘリ此ノ狀勢ヲ以テ推移シタラムニハ農業其ノ他産業ノ萎靡ヲ招致スヘキヤ必セリ爾日米價ノ騰貴ニ際シ米價調節ト唱ヘテ之カ引下ケニ努メタル政府ハ現下米價ノ低落ニ對シ之ヲ調節スルノ意ナキカ又之カ調節ヲ必要ト認ムレハ如何ナル方法ヲ執ラムトスルカ

右及質問候也
東京帝國大學醫科大學教授ノ職責ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也

大正三年十二月八日
提出者 若杉 喜三郎 贊成者 福井 準造 外三十八人

東京帝國大學醫科大學教授ノ職責ニ關スル質問主意書
東京帝國大學醫科大學教授諸氏ノ行動ニ付テハ世間既ニ定評アリ或ハ新聞ニ或ハ雜誌ニ內職問題ノ起リアル或ハ老朽教授ノ淘汰スヘキヲ説クモノアリ又近來ニ至リ傳染病研究所問題ニ付テハ大隈首相ト青山學長トノ關係ニ付キ世論囂々タリ左ニ政府ノ所見ヲ問ハムトス

一 內職問題ハ程度問題ナリト謂フモ現今ノ如ク専ラ自利ヲ主トシ更ニ學術上見ルヘキ程ノ業績ヲ舉ケサルモ其ノ職責ヲ完ウスルモノト認ムル乎
二 基礎醫學方面ノ人々ニ在リテハ老朽又ハ若朽シ世ノ進歩ニ後レタル人多シ是等ノ人々ニ對シ相當休職ノ途ヲ與ヘ後進ニ途ヲ開クノ意志無キ乎
三 傳染病研究所問題ハ要スルニ大隈首相カ青山學長ノ請託ヲ容レ立憲治下ニ有ル間敷キ苛酷ナル處置ヲ執リタルニ起因ス青山學長其ノ他ノ教授ニ對シ大ニ懲戒ヲ加フヘシ政府ノ所見如何

右及質問候也
傳染病研究所移管ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也

大正三年十二月十日
提出者 八木 逸郎 贊成者 村井 善四郎 外三十八人

傳染病研究所移管ニ關スル質問主意書
一 內務省所管傳染病研究所ヲ文部省所管ニ移セル原因ハ行政整理ト學制統一ニ基クト開ク果シテ然ル乎
二 其ノ結果如何ナル改善ヲ豫想セラレタルヤ
三 內務及文部兩大臣ハ歐洲及日本ニ於ケル研究所ノ學術研究ニ對スル特性ヲ知悉セルヤ
四 文部省ノ所謂學制統一ノ真意義如何

五 萬般ノ施設ヲ變更スルニ際シ事物其ノ物ノ歴史ヲ考慮スヘキヤ論ヲ俟タス内務
文部兩大臣ハ該研究所ノ歴史ヲ知悉シ及考慮セシヤ如何
該研究所ノ移管ニ對シ兩省ノ屬僚ハ一モ知ル處ナカリシト聞ク然ラハ本件ハ單
ニ兩大臣ノ理想ニ由リ決定セシモノト見ルヘキ乎

六 學者ノ技量ニ信賴セル機關ノ變更ヲ爲スニ當リ毫モ其ノ意見ヲ徵セスシテ決行
スルカ如キハ學問ノ權威ヲ無視シ學者ヲ尊重セサル不穩當ノ行動ト認ム兩大
臣ノ所見如何

七 北里所長辭職ノ徵アルヤ文部大臣ハ始メ醫科大學ニ屬スヘキ旨ヲ告ケタルニモ
拘ラス更ニ大學總長ノ下ニ屬スト言ヒ又更ニ文部大臣ノ直轄トスヘシトシテ留
任ヲ勸告セリト聞ク果シテ然ラハ是レ責任アル大臣ノ適當ナル行動ナルヤ其ノ
所見如何

八 移管ノ結果却テ多額ノ經費ヲ要シ併セテ研究事業ヲ阻害シ及醫事衛生上ノ
運用ヲ不充分ナラシメタルハ明白ノ事實ナリ之ニ對スル兩大臣ノ責任ノ自覺如
何

九 右及質問候也
山陰鐵道建設事業ノ進止ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也
大正三年十二月十一日
提出者 恆松 隆慶
贊成者 小久保 喜七
外三十五人

山陰鐵道建設事業ノ進止ニ關スル質問主意書
山陰鐵道中濱田線及津和野線建設事業ノ進止ニ關シ左ノ質問ヲ提出ス
一 國有鐵道建設上山陰線ノ疎外セラルヤ由來久シ其ノ濱田線中出雲今市
以西ノ建設工事ノ如キ或ハ進行シ或ハ繰延ヘラレ現ニ昨年度ヨリ續工ノ計
畫決定セラレタル大田以西溫泉津三至津僅々十五哩間ノ内仁仁万村以西大
濱村ニ至ル土地ノ買収ノ終レト終ラサルモノアリ前年建築セル技師出張
事務所ハ已ニ壞廢シテ空シク鼠雀ノ棲ムニ委テ庭前草茫々タルカ如キ其工
事ノ進止孰レナルカヲ疑フ特ニ溫泉津ハ石見海岸中濱田港ト共ニ唯一箇
所ノ汽船定期寄港地ナルヲ以テ鐵路一度溫泉津驛迄開通スレハ以テ石見
東部ノ急ヲ拯フヲ得ヘシ政府ハ眞ニ此ノ工事ヲ續行スルノ意思アリヤ否又本
年度中一旦中止セシモ來ル大正四年度ニハ起工スルモノト信ス果シテ如何
濱田ハ步兵第二十一聯隊ノ所在地ニシテ且汽船定期寄港地ナリ聯隊ノ所
在地ニシテ鐵道ノ便無キモノハ全國中唯濱田ト高知トアルノミ今若鐵路濱
田ニ延長スレハ獨リ軍事上ノ大缺點ヲ補フノミナラス海陸ノ連絡茲ニ成リテ
產業上石見中部ノ急ヲ拯フヲ得ヘシ知ラス政府ハ單ニ鐵道改良ノ急ニ偏重
シテ此等焦眉ノ急ヲ看過スルハ如何

二 津和野線中德佐隧道ハ山口方面ヨリ津和野ヲ經テ益田ニ達スル線路中田
代隧道ニ亞クノ難工事タリ而テ田代隧道ノ開鑿工事ハ現今大ニ進捗シ、
アルヲ以テ德佐隧道ノ起工ヲ急カサレハ津和野線ノ開通爲ニ遲延スルノ虞
アルノミナラス石見西部ノ人心一日モ安キコトヲ得ス政府ノ是ニ對スル決定計
畫如何

三 現政府ハ山陰線中未成線ニ係ル石見國ニ於テ約一百哩豫定ノ年度及年
割金等ヲ繰延ヘラレシモノト信ス果シテ然ラハ此等未成線ハ今後幾年ノ年

四 官報號外 大正三年十二月十六日 衆議院議事速記第六號 議長ノ報告

度割ニ改正セラレシモノカ又益田萩間ノ線ノ如キモ豫定年度ヲ繰延今ニ起
工セサルハ何カ故ナルカ
右及質問候也

○議長(與繁三郎君) 會議ヲ開キマス、若槻大藏大臣ヨリ演說ノ通告ガアリマシタ
カラ之ヲ許シマス——若槻大藏大臣

(大藏大臣若槻禮次郎君登壇)
○大藏大臣(若槻禮次郎君) 諸君、大禮ニ關シマス經費豫算ハ、本日大正四年度
總豫算追加トシテ本院ニ提出ニナリマシタ、今其大體ヲ說明シテ之ヲ諸君ニ御紹介申上
ルコトハ、私ノ最モ光榮ト致スコロデアリマス、大正四年度總豫算追加第一號ニ計上
シテアリマス、私ノ大禮費ノ豫算ハ、歲入歳出共ニ各二百九十二萬八千四百二十
三圓デアリマシタ、其第二號ニ計上シテアリマス、コレヲ大禮施設費豫算ハ、歲入歳出
共ニ各四百四十六萬九千九百五十四圓デアリマス、コレニ此二ツノ豫算ヲ合計致シマ
スレバ歲入歳出共五百三十九萬九千三百七十七圓トナルデアリマス、右ノ中大禮費ト
申上ゲマス、大禮ニ要スル直接ノ經費デアリマシタ、大禮設備費ト申シマス、大禮
ニ關シテ各省ニ於テ施設スベキ諸般ノ事項ニ要スル經費アルノデアリマス、大禮ニ
關シマス經費ノ豫算ハ、豫算ハ、大正三年度ニ於テ、一度帝國議會ノ協贊ヲ經タ
アリマス、ケレドモ不幸ニシテ大禮延期アラセラル、ニ至リマシタコトハ、洵ニ恐懼ニ堪
ヘナイトコロデアリマス、而シテ今回更ニ明年秋冬ノ候ヲ以テ舉行アラセラル、コトニ御
内定アラセラルニ依リマシタ、茲ニ再ビ是ガ經費ノ豫算ヲ要求致ス次第デアリマス、今
回提出致シマス豫算ヲ以テ、之ヲ前回ノ豫算ニ比較シテ見マス、大禮費ニ於テ
ハ十萬二千二百八十三圓増加ニナッテ居リマス、併ナガラ大禮施設費ノ方ニ於テハ三
萬九千二百四十八圓減少スルコト云フコトニナッテ居リマス、是ハ大禮ニ參列スベキ人
ノ増加ニ伴ヒマシタ、設計ノ變更ヲ要スルコトガアリマス、外、更ニ調査ヲ遂ゲマシ
テ幾分ノ改訂ヲ加ヘマシタコト、同時ニ、出來得ル限り經費ヲ節約シテ豫算ヲ編成致シ
マシタ結果、外ナラヌデアリマス、尙右ノ外大禮ニ關シテ關東都督府、朝鮮總督府
及臺灣總督府ニ於テ、要シマス經費ノ豫算モ、亦前回ノ例ニ依リマシタ、各特別會計
歲入歳出豫算追加トシテ之ヲ提出致シマス、抑、大禮ハ聖代ノ盛儀ニシテ國民ノ忠
誠ヲ致スベキコトコロノデアリマス、私ハ諸君ガ慎重審議、速ニ御協贊ヲ御與ヘアラ
ンコトヲ切望致シマス

(拍手起ル)
○關直彥君 唯今大藏大臣ヨリ御大禮ニ關スル豫算ヲ提出ヲ承リマシタ、吾々ハ滿
足ノ至リニ堪ヘマセヌデアリマス、就キマシテハ一日モ早く御大禮費ノ豫算ヲ提出アラ
ンコトヲ希望致シマシタ、昨日ヲ以テ吾々ハ催促ノ意味ヲ以テマシテ決議案ヲ提出致シ
テ置キマシタ、早ク大禮豫算ヲ提出サレバウニト云フ意味ノ決議案ヲ提出シテ置キマ
シタ、唯今ノ御演說ニ依リマシタ、本日政府ガ御提出ニナリマシタ故ニ、其目的ヲ貫徹
致シマシタカラ、之ヲ撤回致シマス

○議長(與繁三郎君) 日程ニ移リマス、質問——米價調節ニ關スル質問、提出者
小西和君

一 米價調節ニ關スル質問(小西和君外一名提出)
(小西和君登壇)
○小西和君 我が政府ニ質問ヲ致シタイ事柄ハ、米價調節ニ關スル問題デゴザイマス、

若槻大藏大臣ノ演說 米價調節ニ關スル小西和君ノ質問演說

大正三年十二月十六日

衆議院議事速記第六號

議長ノ報告

若槻大藏大臣ノ演說

米價調節ニ關スル小西和君ノ質問演說

大正三年十二月十六日

衆議院議事速記第六號

議長ノ報告

誠ニ地味ナ問題アリマスケレドモ、我國民ノ過半ヲ占ムル農家及ビ一般ノ商工業者ニ對シマシテ、重大ナル關係ヲ有シテ居ル事柄デゴザイマス故ニ、私ハ之ヲ決シテ小問題トハ看做サナイノミナラズ、是ハ極メテ眞面目ニ研究シナケレバナラヌ事柄デアルト信ズルモノデアリマス、固ヨリ政黨政派ノ如何ニ關係ナク、我衆議院ニ於キマシテモ、代議士諸君ノ多數ノ方ニハ何トカ方法ヲ講ジナケレバナラヌト認メテ居ラル、コトヲ疑ハナイノデアリマス、私ガ此問題ヲ提出致シマスノハ、之ニ依ッテ政府ニ突掛ラウナド、云フ考ガアツテノコトデアリマセヌ、全ク米價ノ調節ヲ希望スルト云フ意味ニ於テ、又此問題ニ就テ御相談ヲ致シタイト云フ意味ニ於テ、質問デゴザイマス、此米價調節ノ問題ニ付キマシテハ、近ク先々月ノコトデアツタ記憶致シマスガ、大浦農商務大臣ハ或公開ノ席ニ於テ「農業ハ我國本デアル、農業ガ振ハナレバ商業モ亦振ハナイ、米價ノ低落ハ目下ノ重大ナル問題デアル」ト御演說ヲ爲サレタデアリマス、次大隈首相モ亦公開ノ席上ニ於テ「大藏大臣、農商務大臣ニ向テ極メテ重要ナル問題ヲ提出セラレマシタ、ソレハ即チ米價調節ノ問題デアル、是ガ研究ノ結果果シテ如何ナル成案ヲ得ルカト云フコトハ固ヨリ疑問デアルケレドモ、此事柄ニ付テハ十分ニ同情ヲシテ居ル、且何等カノ方法ヲ設ケナケレバナラヌ」ト云フコト大隈伯ガ言明ヲセラレテ居ルデアリマス、大隈首相並ニ大浦農相ガ認メラレテ居ラレバ、米價ノ調節ハ如何ニモ重大ナル事柄デゴザイマスルガ、本年ハ米價ガ豐作デアリマシテ、サウシテ非常ニ廉イ爲メ、民ニ某色ガアルト云フコトハ殆ド不思議ノ現象ノヤウデアリマス、何レニシテモハ是非然ルベキ方法ヲ執ッテ救濟シナケレバナラヌコトデアラウト信ズルモノデアリマス、諸君ノ記憶ニ新ナル通り、一昨年ノ夏米價ノ騰貴シタ時分ノコトヲ振返ッテ見マスル、同年ノ六月ニ於テハ其平均ノ價格ガ二十五圓マデ上ツタデアリマス、然ルニ爾來低落ニ次グニ低落ヲ以テ致シマシテ、昨今ニ至ッテハ平均十二圓以下ニ陥ッテ居ルノミナラズ、地方ノ生産地ニ於テハ一石十圓ノ賣買スラモ覺束ナイ状態ニナツテ居リマス、而モ尙且今後ハ低落ノ趨勢デアルノデゴザイマス、然ラバ米價ノ高イ安イト云フコトハ、何ヲ標準ニスルカトナリマス、農商務省ニ於テ農家ノ經濟ニ關スル調査ヲセラレタ、此調査ニ依レバ米ノ諸般ノ生産費、此生産費ヲ計算ヲ致シ、一方ニ於テ金利ノ側カラ割出シテ見マスル、米價ハ生産地ニ於テ一石十八九圓、市場ニ於テ二十圓内外デアツタ然ルベキデアルト、其調査書ニ明書セラレテ居マス、私モ抽象的ナガラムニ價格ハ先ツ以テ十八九圓ガ相當デアラウト信ズルモノデアリマス、一昨午米價ガ奔騰致シマシタ際ニ、政府ガ米價ノ調節ヲ唱ヘテ之ヲ引下ケルコトヲ致シタノハ、農商務省ノ調査ニ依ル適當ナル程度ノ米價、即チ二十圓見當カラ比較致シマシテ著シク騰貴シタ事實ガアツタカラデ、是ハ左モアルベキコト、存シマス、然ルニ現今ハ其反對ニ非常ニ低落ヲ致シテ居リマスルガ、平準價格タル二十圓見當カラ見マスルト云フト、一時騰貴シテ居タモノト、今日低落ヲ致シテ居ルモノト比較致シマシテ、其低落ノ程度ノ開キガ一時暴騰ノ時分ヨリモ一層甚ダシイノデアリマス、故ニ此際米價ノ調節ノ必要ナルコトハ、一昨年ノ米價騰貴ノ際ニ於ケル調節ガ必要デアツタヨリ以上デアルト私ハ斷言シタイトデアリマス、米價ガ何故ニ斯ノ如ク下落シタノデアルカト申シマスレバ、是ハ歐羅巴ノ大戰ガ東洋ニ波及シタ結果デアルト申スハモゴザリマスレバ、私ハ斯ク觀察スルコトハ出來ナイモノデアリマス、若シモ生絲ノ如キ其生産ガ海外ノ輸出ヲ目的ト致シテ居ル、サウシテ世界ノ二價格ガ左右セラレルモノデアリマスレバ、是ハ固ヨリ戰亂ノ影響ト見コトガ出來マスルケレドモ、我國ノ米ナルモノハ世界ニ於テ比類ノナイ特別ノ品質ヲ持ッテ居ルモノデアリマシテ、其需要者モ亦殆ド全ク我國内ニ限ラレテ居ルノデゴザリマス、米ノ價格ノ變動ヲ致シマスルノハ、全ク國內ニ於ケル諸般ノ關係カラ起ルモノデアリマシテ、私ハ歐洲ノ戰亂ガ東洋

ニ波及シタ影響ト見ルコトガ出來ナイト信ズルモノデアリマス、然ラバ現在ノ低廉ノ原因ハ何處ニアルカト見マスルニ、是ハ申スマデモナク未曾有ノ豐作デアルトガ最大原因デア、之ニ昨年ノ生産ノ殘米ガ加ハリマシタコトガ最大原因デア、又其他通算ノ收縮致シタコト、朝鮮米ガ入ッテ參リマスルコト、農家ガ近頃商賣氣ヲ出シテ米ノ價格ニ依ッテ賣捌ヲ見合セルナドノ行動ヲ取リマスルコト、其他種々様々ノ原因ガ綜合シマシテ、サウシテ原因ガ結果ヲ産ミ、結果ガ更ニ原因トナツテ米價ノ低落ヲ招キ、之ニ加フルニ米價ノ低落ト云フコトガ當業者間ノ人氣ヲ銷沈サセマシテ、當然低落スベキ程度以上ニ低落シテ遂ニ今日ノ如キ慘憺タル状態ニ立至ラセタモノト認メルモノデアリマス、故ニ現在ノ米價ト云フモノハ常軌ヲ逸シテ居ルコトコロ、當然低廉デアルベキ以上ノ低廉デアルコトモ認メナケレバナラヌト信ジマス、諸君ノ儘ニ推移ッテ參リマシタナラバ前途ハ如何ナルデゴザリマセウ、差當リ私共ハ一般ノ商工業者中ニ米價ノ低廉ヨリ起ル不景氣ノ影響ニ依ッテ、或ハ破産ヲ致シ、或ハ閉店ヲ致ス者ガ續々出來ハシナイカト云フコトヲ心配致サナケレバナリマセヌ、又農家ガ之ガ爲ニ苦シンデ居リマスルコトハ、今更申スマデモナイコトデアリマスルガ、今ヤ多數ノ農家ノ中ニハ、米價低落ノ爲メ左ナキダニ重キヲ苦シミツ、アル納稅ノ義務ヲ果スコトガ出來ナイト云フ状態ニ立至ッテ居ル者モ決シテ渺ナカラヌデアリマス、誠ニ前途寒心ニ堪ヘナイデアリマスガ、私ハデス、明年ノ米價ニ付テ此際心配セザラ得ナイ點ガアルデアリマス、即チ豐作ノ際土地ニアルコトコロノ肥料分ガ特ニ澤山作物ノ爲ニ吸收セラレマスルコトハ、是ハ農學上ノ原則デアリマス、今年ハ近來見ザル豐作デアリマシタ故ニ、全國ノ水田ニ含マレテ居ルコトコロノ肥料分、竝ニ本年米作ノ爲ニ與ヘラレタコトコロノ肥料分モ、平年以上ニ水田カラ奪ヒ去ラレテ居ルデアリマス、而シテ農家ノ状態ヲ見マスル、米作ヲシテモ非常ニ廉イ、連モ收支ガ償ハナイ状態ニアルト云フ譯デ人氣ガ阻喪シテ居ル、ソレ故ニ肥料ヲ買フコトニ付テ十分ノ力ヲ入レナイノミナラズ、實際肥料ヲ買ヒ兼ヌル者ガ澤山出來テ居ルデアリマス、之ニ加フルニ自ラ明年ノ米價ニ對シテ十分ノ力ヲ盡サナイト云フコトニナル、是ハ實ニ已マラ得ナイ事柄デアラウト信ズルモノデアリマス、此状態デ以テ明年ノ米作期ニ當リ、幸ヒニシテ天候宜シキヲ得ルモ、平作以上ノ收穫ヲ見ルコトハ蓋シ困難デアラウト思ヒマス、若シモ一朝不幸ニシテ天候ノ不順ニ際會致シマスナラバ如何デゴザリマセウ、私ハ明年ノ秋ニ至ッテ本年ト全然反對ノ凶作ヲ見ルコトガナイトモ限ラヌト云フコトヲ恐ル、ノデアリマス、果シテサウデゴザリマスレバ、是ハ我農家ノ基礎ヲ危クセルモノト申シテモ宜カラウト思ヒマス、況ヤ現在ノ天候ノ状態カラ見マスレバ、本年ノ麥作ハ甚ダ面白クナイ、若シモ明年ノ春ニ至ッテ麥作ガ不良デアルト云フヤウナコトガアリ、一方ニ於テハ米ノ價格ガ廉イ爲ニ米ノ消費量ガ増加ヲ致スト云フヤウナコトニナリマスル、サウシテ明年ノ秋ニ於テ凶作ノ襲來ヲ見ルコトニナリマスレバ、明年ノ秋カラ明後年ニ掛ケテ現在ノ状態ト全ク反對ヲ致ストコロノ米ノ不足——我國民ノ主要ナル食物ニ不足ヲ見ルノ惧レガアルコトヲ恐レルノデアリマス、サウシテ其結果ハ再ビ米價ノ暴騰ヲ見ルコトガナイトモ限ラナイノデアリマス、果シテ斯様ナ状態ニ立至ルト致シマスレバ、此米價ノ調節ハ農業政策、社會政策、竝ニ經濟政策ノ上ヨリ見テ、決シテ輕シク看過スルコトガ出來ナイ問題デアリマス、斯ノ如キ國家ノ不幸ノ襲來ヲ、未ダ至ラザルニ先立ッテ防止スルコトハ、政府トシテ是非トモ力メナケレバナラヌ事柄デアラウト信ジマス、若シモ米價ノ調節ノ方法ヲ誤ラズシテ其手段宜シキヲ得タナラバ、農家ノ元氣ガ恢復シ、農業ノ基礎ヲ確立シ、商工業者ヲシテ再ビ活動ニ向ハシムルノミナラズ、一種ノ備荒貯蓄ノ目的ヲ達スルコトガ出來マシテ、誠ニ結構ナ結果ヲ見ルコトガ出來ヤウト信ズルモノデアリマス、翻テ考ヘマスルニ、凶作ノ場合ニ之

ヲ救済スル策、簡單ニ申シマスレバ救済策トモ云ヒマセウ——救凶策トモ申シマセウ、此救凶策ニ付テハ、古ヨリ政事ヲ致シマスルモノガ大ニ注意ヲ致シ、隨分様々ノ手段ヲ講ジテ參シタモデアリマス、到ル處ニ屯倉デアルトカ、義倉デアルトカ申スモノガゴザイマシタコトハ、今更喋々スルマデモアリマセウ、此凶作ヲ救済スルコトハ農政並ニ民政上極メテ必要ナル事柄デゴザイマシテ、食物ガ足りテサウシテ國ガ富ミ兵ガ強イト云フコトハ、是ハ昔カラ今ニ至ルマデ一貫シテ居ルコトヲ原理デゴザイマス、此點カラ見マスレバ此問題ハ軍政上カラ申シマシテモ、極メテ必要ナル事柄デアラウト存ジマス、(簡單ニ願ヒマス)ト呼フ者アリ)近來學問ハ發達ヲ致シ技術ハ進歩ヲ致シマシテ、サウシテ農業ハ著シク改良セラレマシタケレドモ、如何ニ人事ヲ盡スト雖モ到底天候ニ勝ツコトハ出來ナインデアリマス、殊ニ米作ニ於テハ肥料並ニ培養ノ方法ニ於テ遺憾ナク人事ヲ盡ストモ、一朝天候ノ不具ニ遭遇シマスレバ到底凶作ヲ免カレナイコトハ既往ノ事實ガ之ヲ證明シテ居ルデアリマス、私ハ少ナクトモ十年ニ一回米ノ凶作ガ襲來スルモノト覺悟シタケレバナラヌト信ズルデアリマス、(ヒヤ)ト呼フ者アリ)サウシテ其際ニハ米ガ非常ナ騰貴ヲ致シ、又其反對ニ豐作ノ場合ニ低落ヲ致シマスコトモ是亦免レ難イ現状デゴザイマス、故ニ今日ノ文明ノ進シタ世ノ中ニ於キマシテモ、之ニ相應セル救凶策ト云フヤウナ方法ヲ立テ、置ク必要ガアラウト思フデアリマスルガ、差當ツテ問題ト致シマシテ、此凶作ニ對スル手段ヨリモ、マダ一層大切ナルトコロノ手段ハ豐作ヲ救フ策、假ニ之ヲ救豐策ト申シマスルガ、此救豐策ノ必要ガアルト私ハ思フデアリマス、御承知ノ通り去ル明治四十二年ハ恰モ本年ノ如ク、米ハ非常ナ豐作デアッタ、價格ハ同ジク暴落ヲ致シテ、農家ハ苦痛ニ陥ッタ、商工業者モ不景氣ニ泣イタデアリマス、倍テ斯ノ如キ現象ヲ、凶作ノ際ニ起ル農家ノ苦痛並ニ商工業者ノ困難ニ比較致シマスレバ、其原因ニ於テハ全ク反對デアリマスケレドモ、結果ニ於テハ殆ト相違ハナイデアリマス、(ホシ)要領ヲ述ベ給ヘ)ト呼フ者アリ)何レニ致シマシテモ凶作カラ起ル農家ノ苦痛、商工業者ノ困難ハ社會ニ於ケル一種ノ變態ニハ相違ゴザイマセウケレドモ、何レニ致シマシテモ斯カル事實ガアリマス以上ハ、救済ノ必要(アル)ト呼フ者アリ)ガアルデアリマス、農家ハ收穫ノ多イコトヲ望ムヨリモ寧ロ利益ノ多イコトヲ望ム狀態ニナツテ居リマス、而シテ收穫ノ多イト云フコトハ必シモ利益ノ多イコト、一致シナイデアリマス、故ニ本年ノ如キ大豐作ノ場合ニ農家ガ多額ノ利益ヲ收メテ居ルナド、若モ申ス者ガアリマシタナラバ是非常ナル誤リデアルノミナラス、實際ニ於テ殆ト豫想外ノ苦痛ニ陥ツテ居ルデアリマス、或ハ豐作ノ結果米價ガ廉クナリマス、云フト、コレハ消費者ノ利益デアル、隨ツテ是ガ原因トナツテ商工業ノ發達ヲ促スデアルト、斯様ニ申ス者ガアルカモ知レマセウケレドモ(簡單タタ)ト呼フ者アリ)商工業ガ發達ヲ致シタ今日デアリマシテモ、尙且ツ我國ノ經濟界ハ農家ノ購買力ト非常ナ關係ヲ有ツテ居ルデアリマス、農家ガ困難ニナリマス云フト、商工業者ガ自ラ苦痛ヲ被ル、一般社會ノ不景氣ヲ招キマスコトハ是ハ疑モナキ事實デアリマス、斯様ナ次第デゴザイマスルカラ凶作ヲ救フコトガ必要デアルト同時ニ、豐作ニ對スル救済策モ是亦極メテ必要ナ次第デゴザイマス、其上ニ政府ハ既ニ一昨年ノ米價騰騰ニ際シ既ニ業ニ干渉サセモ致シマシテ、積極的ニ又消極的ニ様々ノ調節策ヲ講ジタデアリマス、サウシテ米價ノ引下ニ努メタデアリマス、然ラバ今度ハ其反對ニ米價ノ低落致シマシタ今日ニ於テ、政府ガ同ジク之ヲ引上ゲルコト云フ意味ニ於テ調節策ヲ圖リマスルコトハ、政府ノ應ニ努ムベキ義務デアラウト私ハ信ズルデアリマス、諸君、米價調節ノ方策ノ如キニ至リマシハ、蓋シ様々ノ手段ガアルコト、信ジマス、私ガ誠ニ其方法ノ例ヲ舉ゲマスルト、先ヅ第一ニ陸海軍並ニ監獄署ニ於テ一箇年間ニ消

費スルコトノ米ヲ一時ニ購入シタナラバ、米價調節ノ目的ニ向ツテ非常ナ效果ガアルコトヲ疑ハナイデアリマス、之ニ對シテ或ハ今日ノ法規ガ許サナイナド、申スカモ知レマセウ、私ハ斯ウ云フ際ニ必ズモ拘子定木ニ拘泥スル必要ハナイト信ズル、若シモ政府ニシテ之ヲ救済スルコト云フ誠意ガアルナラバ、如何様ニモ其方法ハ立ツモノデアリマス(不可能)ト呼フ者アリ)決シテ不可能デハナイト信ジマス、(大ニ可ナリ)ト呼フ者アリ)又第二ノ方法ト致シマシテハ、低利資金融通ノ途モアリマセウシ、又政府ガ或ル指定シタ銀行ニ對シテ現今ノ時價ヨリモ幾分力高ク米ニ對シテ擔保貸付ノ方法ヲ取テ、若シモクレニ依テ銀行ガ缺損ヲスル場合ニハ、政府ガ之ヲ補償スル所ノ責任ヲ持ツト云フコトニナルモノ一方法デアラウト思ヒマス、或ハ罹災救助基金トカ地方ノ基本財産等ノ一部ヲ流用シマシテ、米ノ買入ノ方法ヲ取リマスコトモ是亦宜カラウト思フデアリマス、又日本銀行法ヲ改正シテ、農家ニ對シテ短期貸付ノ途ヲ開クコトモ米價調節ノ一手段デアラウト思フ、又農業保險ノ方法ヲ立テルモノ一策デアラウト信ジマス、近來各地ニ勃興シタ、アル所ノ米券倉庫ヲ米價調節ノ方法ニ向ツテ利用シマスルコトモ、亦見通スコトノ出來ナイ手段デアラウト、又朝鮮米ノ輸入稅ハ撤廢サレタアリマスガ、之ヲ復活スルコトモ一ツ考ノ中ニ入レナケレバナラス、又取引所ニ於ケル朝鮮米ノ代用ヲ撤廢スルコトモ是亦研究ヲ要スル問題デアラウト信ジマス、又農家ヲシテ現今ノ如ク商賣氣ヲ出スコトヲ矯正スル途ヲ講ジ、一方ニ於テハ農家ガ共同シテ秩序アル米ノ販賣ノ方法ヲ採ルヤウニ、政府カラ獎勵誘導致シマスコトモ是亦必要デアラウト思ヒマス、尙此他ニ種々ノ手段方法モアルコト、信ジマスルガ、是等ノ方法ノ中ニハ自カラ差當ツテ急務ニ對スル策、即チ應急ノ策ト永久の米價ノ變動ヲ防グコト云フ恆久的ノ策、此二ツガアリマス、何レニ致シマシテモ我國ノ米ハ、我國特有ノモノデアリ我國内ニ於テ消費サレマスモノデ、世界的ノ變動ガナイモノデアリマスルガ故ニ、米價ノ調節ヲ計ルニハ、極メテ容易デアルノミナラス、其效果ヲ奏スルコトモ亦自ラ頗ル大デアルト云フコトヲ私ハ確信ヲ致スデアリマス、是等ノ方法ニ就テ政府ノ答辯ヲ促スデアリマスルガ、政府ハ或ハ目下調査中デアルナド、答フルカモ知レマセウ、併ナガラ此事柄ノ中テ應急的ノ救済策ガ一日モ緩ウスルコトノ出來ナイハ分リ切タ次第デアッタ、既ニ今日ヨリ二箇月前ニ大隈首相カラ當局ノ兩大臣ニ向ツテ攻究スベキコトヲ傳ヘタルト申スコトアレバ、最早相嘗ノ攻究モ出來テ居ナケレバナラヌ答デアリマス、私ハ政府ガ攻究ノ結果如何ナル成案ヲ得タコト云フコトヲ伺ヒタイデアリマス、若シモ當局ノ大臣ガ第二十一議會ニ於テ、加賀代議士カラノ米價調節ノ質問ニ對シテ、終ニ何等ノ答辯モ無カッタト同様ノ態度ヲ執リ、或ハ調節ノ必要ヲ認メナイト云フヤウナ御答辯ガアルト致シマシタナラバ、私ハ之ヲ以テ政府ガ極メテ不誠實デアリ、極メテ不親切デアルト認メザルヲ得ナイデアリマス、既ニ亞米利加ニ於テハ棉花ノ價額ヲ調節イタスコトニ努メ、伯刺西爾ニ於テハ珈琲ノ價額ヲ調節イタスコトニ就テ、共ニ其ノ政府ガ適切ナ手段ヲ採ツテ居ルデアリマス、又戰爭中ノ非常ナ場合デアルニモ拘ラズ、或ハ英國ノ如キ、或ハ獨逸ノ如キ、其國ノ生産事業ニ對シテハ種々ノ手段ヲ執ツテ其國民ノ苦痛ヲ輕減スルコトニ努メテ居ル事實モゴザイマス、又政府ガ或ハ攻究ヲ致シタケレドモ米價ノ調節ニ對スル適當ナ手段ガ見當ラナイナド、云フ答辯ヲスルカモ知レマセウ、若シモ左様ナ答辯ガアツタナラバ、私ハ是ハ現政府ノ當局者ガ手腕ノ無イコトヲ告白スル次第ニ當ルト信ズルデアリマス、要スルニ米價調節ハコト迄モ必要デアルガ、此米價ノ調節ニハ二ツノ方法ガアル、第一ノ方法ハ此米價ノ高低ノ變動ノ開キ——今日ハ非常ニ開キガ大キイ——此開キガ多イタメニ健全デアル苦ノ農業者ガ不健全デアル、同時ニ農家ハ始終不安心ノ裡ニ自分ノ業務ヲ執ツテ居ルデアリマス、又一方カラ見マスルト、我國民ノ主要食料タル米ノ價格變動ガ甚ダシイ

ト云フコトハ、國民ノ經濟上決シテ忽ニ見レベキデハゴザイマセヌ、故ニ歐羅巴、亞米利加ノ主要食物タル小麦ノ價格が變動ノ差額ノ非常ニ渺イト同様、我邦ノ米ニ對シテモ能フ限リ變動ノ差額ヲ少ナクスルヤウナ策ヲ、永久ノ方法トシテ講ズルコトハ、農業ノ基礎ヲ鞏固ニシ兼テ國民ノ生活ヲ安固ニスル途アリマス、是ハ永久ノ米價調節策ト致シテユックリデモ宜シイカラ政府ニ於テ立派ナ調査研究ヲ遂ゲ、其目的ヲ貫徹イタシ立派ナ功ヲ奏スルヤウニシテ實ヒタイノデアリマス、故ニ此恆久ノ調節ニ付テハ若シモ政府カラ研究中ト云フ御答辯ガアリマシテモ、私ハ之ヲ以テ必ズシモ政府ノ怠慢トハ認メマセヌケレドモ、一方ノ差當デノ大問題、即チ今日ノ暴落ヲ如何ニシテ救済スルカト云フ應急ノ調節策ニ付テハ、一日片時モ緩ユルコトが出来ナイ問題デアリマス、殊ニ時恰モ年末ニ迫リテ居リマシテ、農家ハ商工業者ト共ニ、此米價暴落ノ時ニ際シ如何ニシテ歳ノ瀬ヲ越スカト云フコトヲ非常ニ苦痛ト致シテ居ル際デアル、コレ故ニ差當デノ應急策——至急ニ解決ヲ要スル所ノ米價調節策ニ付テハ拙速ヲ尊ブ、ドコ迄モ早く其手段方法ヲ講ジテ實ヒタイノデアリマス、既ニ我衆議院ノ議員中ニ於テ一部ノ有志者ガ時折會合ヲ致シ、米價調節ニ關シテ屢々協議ヲ致シテ居ルノデアリマス、場合ニ依リマシテハ建議案或ハ法律改正案ヲ提出シタイト云フ考モ有テ居ルノデアリマス、苟モ國民ノ利害ヲ基礎ニ置イテ立派ナ政治ヲ行カフコトヲ考ガ、政府ノ當局大臣ノ胸中ニ御在リニナル以上ハ、此應急策ニ付テ親切ナル而シテ明細ナル答辯アラントヲ希望スル次第デアリマス、其答辯モ至急ニヤッテ戴キタイコトヲ茲ニ言明スルモデアリマス

○議長(奥繁三郎君) チョット御諮リ致シマス、唯今豫算委員長ヨリ豫算委員會ヲ開キタイト云フ申出ガアリ、又豫算委員會ハ審查結了マデ本會議中デモ開會シタイト云フ申出ガアリマス、許可スル積リデアリマスガ、御異議アリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(奥繁三郎君) 御異議ガナケレバ許可スルコトニ致シマス

○森田小六郎君 議事進行ニ付テ一言致シマス

○議長(奥繁三郎君) 議事ノ進行ニ付テデスカ

○森田小六郎君 名ヲ緊急動議ニ藉リテ議事日程ヲ變更シテ、事實無根ノ陳述ヲナシタル先例ガアルカト云フコトヲ冒頭ニ於テ質問致シマス

○議長(奥繁三郎君) 議事ノ進行ト云フノハ、今ノ日程デモ變更シタイト云フノデスカ

○森田小六郎君 サウ云フ先例ガアリマスカト云フコトヲ議長ニ御尋ネスルノデスカ

○議長(奥繁三郎君) 調べテ見ネバ分カリマセヌガ、先ヅ無イデセウ

○森田小六郎君 アリマス、ソレハ私モ無イト認メマスケレドモ、最近ニ於テ認ムベキ事實ガアリハシナイカト云フ考ガアリマスノデ、私ハ議長ニ御尋スルノデアリマス

○議長(奥繁三郎君) ヲコデ日程ノ變更ヲスルコト云フノデアリマス

○森田小六郎君 日程ノ變更ハ宜シウゴザイマスガ、議長ニ質問スルノデアリマス

○議長(奥繁三郎君) 議長ニ質問スルノデスカ

○森田小六郎君 サウデアリマス、サウシテ事ハ大ニ議院ノ體面ニ關スルコトデアルガ故ニ、關聯シテ質問ヲナシ、尙國務大臣ノ答辯ニ關聯シテ質問スル先例ハ多クアリマス、故ニ先刻外務大臣ノ御答辯ニ關聯シテ質問致シマス

○議長(奥繁三郎君) ソレハ誰ニ質問スルノデアリマス

○森田小六郎君 議長ニ質問致シマス

○議長(奥繁三郎君) 議長ハ外務大臣ノ答辯ニ對シテ説明スル責任ハアリマセヌ

○森田小六郎君 ツレニ關聯シテ居ルノデアリマス

○議長(奥繁三郎君) 議事ノ進行ニ付テ議長ニ御尋ナレバ答ヘマス、何デスカ

○森田小六郎君 ドウカ理由ヲ聽イテ下サイ——發言ノ御許シヲ願ヒマス

○議長(奥繁三郎君) 議事ノ進行ニ付テ御尋ナラバ許可シマス、何ヲ問フノデアルカ、要領ヲ言シテ下サイ

○森田小六郎君 宜シウゴザイマス 要領ヲ申シマス、本議會以來院內ノ有様ヲ見テ居リマスニ、議院法ノ規定ニ違反スル議員ノ一個人ノ身上ニ關スル不都合ナル發言ヲシタモノガアルノミナラズ、議院ノ體面ニ關スル看過スベカラザル言動ヲ爲シタ議員ガアルノデアリマス、特ニ去ル十二月十二日此議場ニ於テ政友會ノ議員武藤金吉君ガ外務大臣ニ質問ヲサレマシタ、其質問中ニ速記録ニ斯ウ云フコトガ載ッテ居ル英吉利政府ガ我が輸出生絲ニ對シテ……

○議長(奥繁三郎君) 森田君ニ御尋シマスガ、ツレニ付テ何カ動議デモ出サレルト云フノデスカ、若クハ日程デモ變更サレルト云フノデスカ

○森田小六郎君 質問シタ上デ致シマス

○議長(奥繁三郎君) サウシマス 議事ノ進行ニ付テ質問ノヤウデナイ、ナイデスカラシテツレハ許可シマセヌ

○森田小六郎君 要領ヲ御聽キニナレバ分リマス

○議長(奥繁三郎君) 今ノ御話ヲ聽クトサウデナイヤウデアル、議事ノ進行ニ關スル點デアルト云フ要領ヲ聞カシテ下サイ

○森田小六郎君 ツレハ要領ヲ云ヘバ直ニ議事ノ進行ニ關係スルコトハ御分リナリマス、「英吉利政府ガ我が輸出生絲ニ對シテ及ビ羽二重ニ對シテ一切ノ輸入ヲ禁止スルト云フコトヲ最近ニ於テ決定サレテ、其報道ハ本日私ノ手許ニ電報ガ入ッタノデアリマス」ト云フコトヲ言ッテ居ラレマス、果シテ斯ル電報ガ武藤金吉君ノ御手許ニ届イタノデアルカ、若シ居イテ居ルトスレバ其電報ハ英吉利ノ何レノ土地デ、何人カラ來タモノデアルカト云フコトヲ議長ノ御手許ニ於テ御尋ヲ願ヒタイ、其上デ私ハ申シマスコトガゴザイマス

○議長(奥繁三郎君) 森田君ノ唯今ノ陳述ハ議事ノ進行ニ關シタル質問デナイノデアリマス、夫故ニ議長ハ日程ニ基イテ進行致シマス

○森田小六郎君 之ニ基イテ日程ヲ變更シタイノデアリマス

○議長(奥繁三郎君) 日程變更ナラバ日程變更ノ動議ヲ提出シタラ宜シイ

○森田小六郎君 武藤君ガ緊急動議ヲ提出シテ日程變更ヲサレタト云フコトハ、議事ノ進行ニ關係ハアリマセヌカ

○議長(奥繁三郎君) 日程變更ノ動議ヲ出シマス

○森田小六郎君 私ガ御尋ラシタ上デ……

○議長(奥繁三郎君) ツレハ次ノ質問ニ移リマス——東京帝國大學醫科大學教授ノ職責ニ關スル質問、若杉喜三郎君

東京帝國大學醫科大學教授ノ職責ニ關スル質問(若杉喜三郎君提出)

(若杉喜三郎君登壇)

○若杉喜三郎君 凡ソ人ト致シマシテ、自己ノ職務ニ付キマシテ其神聖ト權威トヲ尊重セザル者ナキハ論ヲ俟タザルトコロデアリマス、我輩ハ此點ニ於キマシテハ職ヲ同ジクシ、且其多數ハ友人デアルトコロノ東京醫科大學教授諸氏ガ、最高學府ノ職員トシテ

名譽アル位置ニ居ラルガタメニ、諸氏ノ行動ニ付テ云々スルコト云フコトハ快シト致シマセヌ、併ナガラ時勢ノ進運ト現下ノ狀況ハ、之ヲ默止スルコトヲ許シマセヌ、此事ハ甚ダ遺憾ニ存スル次第アリマス、諸君、御承知ノ如ク東京醫科大學教授諸氏ノ行動ニ付テハ、世間既ニ定評ガアリマス、或ハ新聞ニ或ハ雜誌ニ内職問題ガ起リ、或ハ老朽教授ノ淘汰ヲ説クモノガアリマス、又近來ニ至リマシテ傳染病研究所轉管問題ニ付キマシテハ、青山學長ト大隈首相トノ關係ハ天下ノ普ク知ルコトデアリマス、正規ノ手續デハ到底困難ナルコトヲ覺エマシテ、辛辣ナル方法ニ依ツテ突如トシテ此移管問題ヲ解決シタデアリマス、是ハ私情ヲ以テ公事ヲ犧牲トシ學者トシテ本分ヲ忘レ、且ツ醫科大學長トシテノ衛生行政ノ運用、竝ニ傳染病ノ研究ニ多大ノ踉蹌ヲ來サセタモノト認メナケレバナリマセヌ、然ルニ其他ノ教授諸氏ハ、斯カル衛生上、學術上、重大ナル問題ニ付キマシテ、唯盲從シテ北里氏以下職ヲ辭シマスルニ際シテ、平然トシテ後任者ノ多數ヲ醫科大學ヨリ就任セシメマシタコト云フコトヲ見マスレバ、是ハ醫科大學教授全體ノ承認ト認ムルヨリ外ナイデアリマス、又新聞雜誌等ノ論評ニ付キマシテモ、更ニ反省自覺スルノ模様ハナキノミナラズ、益々自分ノ利益ヲ圖リ、一面學閥ヲ作り、以テ地位ノ安固ヲ畫スルニ汲々タル狀態デアリマス、此點ガ吾輩ガ政府ニ質問シタイト云フ理由デアリマス、第一ニ内職問題ニ付キマシテハ、世間之ヲ程度問題ナリト爲シテ不問ニ付スル人ガアリマス、是レ實ニ今日ノ弊害ヲ來シマシタ原因デアリマス、臨床醫科ノ方面ニ屬スル教授中、十中ノ八九ハ自宅開業ヲシテ居リマス、爲メニ教授上往々不都合ヲ生ズルバカリデナク、學術研究ノ如キハ極メテ冷淡デアリマス、歐洲諸大學ノ教授ニ比較致シマシタナラバ、學力ノ程度竝ニ業績ノ舉ガラザルコトニ至リマシタナラバ、其差霄壤モ當ナラザル程デアリマス、殊ニ甚シキハ近來ニ至リマシテ、自己或ハ他人ノ名義ヲ以テ病院ヲ經營致シマシテ、教授ノ時間ヲ終レバ倉皇トシテ自宅ニ歸リマシテ患者ヲ診療スルニ至リマシタ、而シテ最モ古キ醫科大學トシテ範ヲ全國醫界ニ示スベキ東京醫科大學教授諸氏トシテ、斯ノ如キ行爲ハ國民ノ齊シク望マザル所デアリマス、吾輩等ハ曩ニ新潟醫學專門學校ヲ創立致シマス際ニ、現文部次官福原君ヨリ、其當時教授ノ一部ヲ擔任スベキコトヲ交渉サレマシタ、併ナガラ苟モ教授ナルモノガ、私立病院ト關係ヲ有スルコトハ弊害アルコトヲ認メマシテ、固ク辭退致シマシタ、醫學專門學校ニ於テスラ、其弊害ヲ認メラレル所ノ當局者ニシテ、曩ニハ京都法科大學ニ於テ其無勢力ヲ表明シ、又東京醫科大學ニ於テツレ以上ノ能力ヲ發揮セラル、ト云フコトハ何事デアリマスカ、是レ文部次官トハ申シマセヌ、文部當局者ガ大學ノ鼻息ヲ窺ハザルヲ得ザル弱點ヲ有スルカラデアリマス、又教授ヨリ自宅診療ヲ受クルト云フコトニ付キマシテハ、民間醫師ノ稍々發達セル今日ニ於キマシテ、一般社會モ亦注意ヲシナケレバナラヌコト、存マセ、少シク位地アル人デアリマス、輕度ノ病氣デアリマシテモ、大學教授ヨリ自宅診療ヲ受クルト云フコトヲ普通ノ如クニ考ヘルヤウニナリマシタ、斯ノ如ク首肯セシムルニ至リマシタコトハ、是皆大學教授ガ最初ヨリ其方針ヲ誤ツテ、自宅診療開始セラレタカラニ基因致シマス、而シテ少シク心ノアル者デアリマスレバ、皆此東大醫科教授ガ研究ニ對シ誠意ナキコトハ承知シテ居リマス、萬一、場合ニハ厄介ニナラザルヲ得ザルコト、思ヒマシテ、蓋主主義ヲ取り沈黙スル人ノミ多キヲ占メマス、我國醫學發達ノ爲メ實ニ憤慨ニ堪ヘザルコトデアリマス、特ニ基礎ヲ獨逸ニ取リシ醫學ニアリマシテハ、目下獨逸ト交ヲ斷ツニ至リテハ、飽迄依頼心ヲ起サズ、日本醫學ノ獨立ヲ謀ラザルヲ得ザルノ時デアリマス、然ルニ教授諸氏ガ從來ノ如ク自己ノ利益ニミ汲汲トシテ、大學教授ノ看板ヲ掲ゲタル開業醫トシテ行動セラレマシテハ、何レノ時カ日本

醫學ノ獨立ヲ期スルコトガ出來マセウ、又東大醫科教授ニシテ斯ノ如キ行動アリトスレバ、其配下ノ助教援助手ハ勿論、全國ノ醫科大學竝ニ醫學專門學校教授モ皆其惡風ニ倣ヒ、漸次自宅開業ヲ爲シ、若クハ私立病院ヲ經營スルニ至リマセウ、斯ノ如キハ當ニ學術研究ヲ阻礙スルノミナラズ、全國醫師ノ風紀ヲ壞亂シ、隨テ醫權ノ失墜トナリ、其結果、醫學衛生上社會ニ及ボス所ノ弊害測知スベカラザルモノト信ジマス、政府ハ此等教授ハ其職責ヲ全ウスルモノト認ムルカ、是ガ第一、第二、基礎醫學ノ方面ノ諸氏ニ就キマシテハ、研究ニ誠意ガアリマシテモ既ニ老朽セル人ガアリマス、又ハ若朽シテ研究ニ十分カ力ヲ用非ルコトノ出來ナイ人ガアリマス、是等ノ人々ニ對シマシテハ、相當休職ノ途ヲ與ヘテ新進有爲ノ人ヲシテ之ニ更ラシメナケレバナラヌト存ジマス、此等ノ人々ニ向ツテハ適當ノ所置ヲ取ルベク調査中ダコト云フコトヲ明言シテ居ラレマス、然ルニ其後今日ニ至ルマデ何等爲ス所ガナイト云フコトハ、言ハルモノト言ハナケレバナリマセヌ、何レノ時實行セシムルカ、更ニ聞カント欲スルコトデアリマス、是ガ第二問、第三、傳染病研究所問題ニ就キマシテハ大隈首相ト青山學長トノ關係ハ、前ニ述べタル如クデアリマシテ、如何ニ賢明ナル大隈首相ト雖モ、醫學衛生ノ事ニ付テハ素人デアリマス（ヒヤ／＼）「ト呼フ者アリ」然ルニ研究所設立當時ノ事ヲモ顧ミズ、又履ムベキ道ヲ履マズ、突如トシテ文相トノ間ニ移管ヲ實行セシメタコトハ、立憲治下ニ想スベカラザル非行デアリマス、是レ一ニ青山學長ノ請託ヨリ出デタ事ト存ジマス、而シテ醫科大學現今ノ狀態ト、傳染病研究所ノ成績ヲ比較致シマスレバ、醫科大學教授ノ中ニハ世界的著名ナル大發明ヲ爲シタル人殆ド無イト言ウテモ可ナルベキニ、傳染病研究所ノ方ニアリマシテハ、北里氏ノ破傷風病原菌ヲ始メシテ、志賀氏ノ赤痢菌發見、秦氏ノ「サルワンサン」ニ於ケル、梅野氏ノ痘苗ニ關スル業績ノ如キハ、實ニ世界的ノ大事業ト云ハナケレバナリマセヌ（ヒヤ／＼）「ト呼フ者アリ」此等偉大ナル業績ニ對シテ、醫科大學教授諸氏ガ常ニ嫉妬心ヲ以テ迎フルトハ、是レ實ニ自家業績ノ舉ラザルガタメニシテ、嫉妬ト云フコトハ常ニ弱者ノ固執スル平凡ノ精神狀態デアリマス、ケレドモ、身苟モ大學教授トシテ學者ヲ遇スルノ道ヲ知ラス、當ニ私情ヲ以テ迎フルノミナラズ、惡辣ナル手段ヲ弄スルトハ何事デアリマスカ（ヒヤ／＼）「ト呼フ者アリ」斯ノ如ク教授諸氏ハ平素感情ヲ以テ行動セラル、ガタメニ配下ノ助教援助手等ニ至ルマデ、皆徒ニ鼻息ヲ窺ツテ私利ヲ營ムト云フ狀態ニ至リマシタ、又一面學生ノ方ヨリ申シマスレバ、教授ノ一顰一笑ハ卒業後ノ賣レ口ニモ關スル事柄デアリマス、是亦詔ヲ以テ常トスル常態デアリマス、隨ツテ是等教授諸氏ノ薰陶ヲ受ケタル學生ハ、將來如何ナル精神的修養ヲ以テ社會ニ立ツデアラウカト云フコトハ、實ニ憂慮ニ堪ヘザル次第デアリマス（ヒヤ／＼）「ト呼フ者アリ」此等公德ニ關スル重大問題ヲ惹起セシメタルハ、獨リ醫學衛生上ノ問題ノミナラズシテ、廣ク世道人心ニ惡影響ヲ來スモノデアリマス、故ニ、教育上ニモ之ヲ默過スルコトガ出來ナイ事柄デアリマス、然ルニ政府ハ何故ニ此等ノ罪惡ヲ敢テシ、尙且ツ平然憚ラズシテ自利ヲ營ムノ人々ニ對シテ懲戒ヲ加ヘ、適當ノ處置ヲ執ラザルカ、以上三箇條質問ニ及ビマス

○議長（奧雲二郎君） 次ニ移リマス、銀行業取締ニ關スル質問——人見米次郎君

○人見米次郎君 本員ノ質問セント致シマスルノハ、大藏大臣ニ對シテアリマス、大藏大臣ハ唯今缺席デアリマスカラ、直グニ出席セラル、ナラバ本員ハ質問致シマスガ、直グ出席スルコトガ出來ナケレバ次回ニ於テ致シタイト思ヒマス、大藏大臣ニ御尋下サルヤウニ……

○議長(奥繁三郎君) 今豫算委員會ニ出席中デアリマス
○八見米次郎君 ヲレデハ次回ニ御廻シ下サルヤウニ……
○議長(奥繁三郎君) 次ニ移リマス、傳染病研究所移管ニ關スル質問——八木逸郎君

四 傳染病研究所移管ニ關スル質問(八木逸郎君提出)

(八木逸郎君登壇)

○八木逸郎君 私が今日提出致シマシタ質問ノ箇條ハ、諸君ノ御手許ニゴザイマセウガ、彼ノ傳染病研究所ヲ内務省カラ文部省ニ移管サレタ問題ニ就デアリマス、此問題ガ、此事カ勅令ヲ現レマシヤ否ヤ、都下ノ大部分ノ新聞ハ非常ニ其不當ヲ鳴ラシタデアリマス、醫事雜誌、醫事衛生上雜誌ノ總テモ其不當ヲ鳴ラシタデアリマス、醫師ノ各種ノ團體モ其不當ヲ決議シ、或ハ其決議ヲ發表シテ當局ニ申出デ、若クハ舊トノ通りニシロト云フコトヲ、醫師ノ團結カラ建議スルコト云々ヤウナコトデ、隨分ニ此社會ヲ騒ガシタ問題デアリマス、私モ自分ノ修メテ居ル學問ノ關係カラ、傳染病研究所ノ成立以來ノ歴史モ存ジテ居リマス、又醫科大學ノ遺方モ存ジテ居リマス、故ニ此問題ガ現レマシテ以來、此問題ニ付テ政府ノ處置ヲ非難スルモノ多ク論旨ニ對シテ、力メテ躬自ラ政府ノ側ニ立ッテ、其反對ノ論點ヲ打消スベク頭ノ中デ種々理由ヲ見出スベク努メテデアリマス、併ナガラ如何ニシテモ當ラ得テ居ル、即チ攻擊ニ對シテ打消シ得ル理由ヲ見出サナカッタデアリマスガ故ニ、茲ニ數箇條列舉シテ提出質問ニ及ンダ所以デアリマス、尤モ此箇條ヨリ尙ホ一ツ加ハルカモ分リマセヌ、第一ニ私が質問シタインハ傳染病研究所ヲ移管サレタノハ、學政統一ニ基カ、行政整理ニ依ルカ、斯ウ云フ間デアリマスガ、見方ニ依レバ學政統一——文部大臣ハ之ヲ行政統一ト云フデ居ル、行政統一モ行政整理ノ一ノ方法ト見ラル、カモ分リマセヌカラ、所謂行政整理ニ基カト問フデモ宜シコトデアリマスガ、此點ニ對シテハ既ニ前回ニ於キシテ竹越君ガ問ウテ文部大臣ガ直ニ之ニ答ヘテ居ラマス、而シテ其答ヘラレタ答方ハドウデアルカト云ヘバ「御話ノ通り全ク行政統一ト云フ主旨ニ出テ居リマス、此事ハ數年來行政整理ノアリマス毎ニ、數問題トナツタコトデアリマシテ、抑ハ明治三十五年ニ奧田氏ガ行政整理ノ案ヲ立デラレタ時カラ、此事ガ胚胎致シテ居ルデアリマス、爾來西園寺内閣ノ時ニ於テ出來タ所ノ行政整理案ニモ、亦是ガ一致トナツテ居リマシタガ、終ニ之ガ實行セラル、ニ至リマセヌノデ今日ニ至リマシタ、私ハ其當時ノ調査ハ最モ適當ナリト信ズルデアリマス」抑ハ官制ノ上ニ於テ互ニ各省ノ職司ヲ明カニシテ其分界ヲ明瞭ニスルコトハ、行政整理ノ際ノ如キニ於テハ第一ニ考ヘナケレバナラヌコトデアリマス、凡ソ各省官制ノ間ニ互ニ職司ノ混亂ヲ致スト云フコトハ、行政ノ錯雜ヲ來ス所ノ最モ主ナル原因デアル、其結果トシテ生ズル弊ハ、行政整理ノ際ニ於テ豫メ之ヲ防グト云フコトヲ十分ニ考ヘナケレバナラヌコト、考ヘマス「斯様ニ申シテ居ルデアリマス、サウスレバ職司ヲ明確ニスル、行政ヲ統一スル、斯ウ云フ意味デ此移管ヲサレタト云フコトヲ文部大臣ハ答ヘラレテ居ルデアリマス、此答ニ於テ更ニ私ハ問ヒタイノハ、文部大臣ノ所謂行政統一ト云フコトハ、ドウ云フコトデアルカ、行政統一ト云フコトハ、清水君ノ答及ビ同志會デ演說サレ、或ハ世間デ言ハレテ居ルトシテ、醫事雜誌若クハ新聞ニ載ツテ居ル所カラ申シテ見マシレバ、傳染病研究所ノ如キハ研究スル所デアル、病氣ヲ研究スルノニハ非常ナ高イ學問ヲ要スルデアル、高イ學問ヲ研究スルコトハ文部省ノ仕事デアル、故ニ學政統一ヲシナケレバナラヌ、斯ウ云ツタヤウナ意味ニ言ウテ居ラレルデアリマス、職司ヲ明確ニスル、斯ウ云フモノハ文部省ニ入レナケレバナラヌデアルガ故ニ、文部省

ニ入レテ内務省ノ所屬ヲ離レルノガ當然デアル、斯ウ言ツタヤウナコトカラ出テ居ルヤウデアリマスガ、傳染病研究所ト云フモノハ、性質ハ傳染病ノ原因若クハイロ／＼ナ處置ヲ研究スル所デアルコトハ勿論デアリマス、併ナガラ又醫事衛生上ノ諮詢機關トナリ、或ハ醫事衛生上ノ要具トナツテ居ル仕事ガ澤山アルデアリマス、此傳染病研究所ガ二十五年度ニ私立出來、而シテ其末ニ大日本私立衛生會ニ屬シテ、大日本私立衛生會ナル公益團體ガ之ヲ行ヒマシテ、其後ニ長谷川泰君島田三郎君等ノ建議ニ於テ、明治二十六年ノ一月ニ此議會ヲ通過シテ補助ヲ與ヘタノデ、現在ノ侯爵其時ノ伯爵井上内務大臣ハ其補助金ヲ與ヘル時ニ、醫事衛生ノ機關タルコトヲ守ラナケレバナラヌト云フ約束ヲ以テ下附シテ居ルデアリマス、故ニ傳染病研究所ノ全體ノ仕事ヲ考ヘマシタナラバ、醫事衛生ノ要具タル所ノ仕事ノ方ガ多クデ、而シテ傳染病ヲ研究スルコト云フコトガ寧ロ附隨ニナツテ居ルデアリマス、併ナガラ此點ハ文部大臣ハ事實ノ上ニ於テ傳染病ヲ研究スル方ガ仕事ガ多イデアリマシテ、衛生ノ方ハ少ナイデアアル、斯ウ言ヘバ水掛論ニナリマスカラシテ、假リニ文部大臣ノ言フガ如ク研究スルモノハ文部省ニ屬サナケレバナラヌ、而シテ傳染病研究所ノ仕事ハ、研究ガ十分ノ七若クハ八ニナツテ居ルカラ、文部省ニ屬セナケレバナラヌト云フコトデアツテ、而シテ斯クシナケレバ職司ハ明白ニ出來ヌト云フ意味ナラバ、斯様ナ複雜ナモノヨリハ、モット單純ナルモノニ於テ職司ヲ明カニスルガ爲メニ、行政ヲ統一スルガ爲メニ、手ヲ著ケラレナカッタト云フコトガ他ニ澤山アルデアアル、第一ニ於テ逓信省ノ商船學校ノ如キハドウデアリマス、此間ノ會ニ於テ陸海軍ノ大學ハドウデアアルカト云フ質問ニ對シテ、是ハ内容ヲ調べ見タラ分ル、國民ノ教育ノモノデナイ、限局シタ性質ノモノデアアルカラ、文部省ニ入レラレナイト云フコトガ分ルコト云フ答辯デアリマシタガ、逓信省ノ商船學校ハドウデアアル、是等ハ國民ノ教育ノモノデナイ、又誰デモ希望ノ出來ルモノデアアルデアリマスツレヲ手ヲ著ケナイ、又華族學校ハドウデアリマス、是ハ宮内省デアアルカラ關スルコトハ出來ヌト、斯ウ云ヘバ免ニ角デアリマスガ、現ニ文部省ノ或ル局長ノ如キハ其幹事トナツテ互ニ此教育上ノ聯絡ヲ計シテ居ルト云フコトガアルデアリマス、併ナガラ是ハ所管ガ宮内省デアアルカラ手ガ出セヌト云フコトデアレバ、更ニ私ハ又例ヲ出シテ見マセウ、内務省ニ於ケル衛生試驗所ハドウデアアルカ、殆ド藥ノ研究ヲスル所デアリマス、藥ノ試驗ヲシテ正邪ヲ區別シテ居ル處デアリマス、此衛生試驗所ヲ何故ニ内務省カラ文部省ニ持ツテ來ヌデアアルカ、尙ホモウ一ツ的確ナル例ヲ出セバ脚氣ノ研究デアリマス、脚氣ト云フ病氣ヲ研究スルノハ孰レカラ見テモ文部省ニ屬セナケレバナラヌモノデアリマス、然ルニ此脚氣ノ研究ハ陸軍省デ、陸軍省ハ軍事費ヲ持ツテ居ルデアリマス、而シテ其委員ハドウデアアルカト云ヘバ、京都ノ醫科大學ノ教授、或ハ東京ノ醫科大學ノ教授若クハ民間ノ學者ヲ集メテ委員トナシテ、脚氣ノ調査ヲ今日マデ續ケテ居ルデアリマス、此脚氣調査ハ陸軍省デ是非シナケレバナラヌモノデ、文部省デハヤッタイケナイト云フ職司ノ明確ガ何處ニアルデアリマセウカ、更ニ又例ヲ舉ゲマスレバ、職司ヲ明確ニスルコトニナリマスレバ、餘所ノ省ニアツテ文部省ニ近イモノナラバ、文部省ニ持ツテ來ルノミナラヌ、文部省ニアルモノニシテ寧ロ其關係ノ他省ニアルモノナラバ、又他省ニ吐キ出スト云フコトハ、職司ヲ明確ニスル所以デナケレバナラヌデアリマス、文部省ハ醫者ノ試驗、若クハ齒醫者ノ試驗、之ヲ文部省デヤツテ居ルデアリマセヌカ、此試驗制度其モノガ文部省ノ研究スル學問ニ於テ何ガ關係ガアリマスカ、其試驗委員長ハ後備陸軍軍醫總監足立寛氏デアアル、其理事ハ内務省警視廳醫長栗本博士デアアル、無論委員ハ大學ノ教授ヨリモ出テ居リマスガ、大部分ハ民間ノ學者カラ出テ居ルデアリマス、而シテ此試驗サレタル醫者ハ内務大臣之ヲ管轄スルデアリマス、醫術開業試驗ノ免狀モ内務大臣ガ之ヲ渡シマス、文部大臣ハ是ガ最高ノ研究ニ

ナルガ、又文部大臣ガヤナケレバナラヌ仕事アルカト云フコトニシテ言ハバ、是ガ職司ノ明確ニナリマセウカナリマセウカ、以上ノ如ク列舉致シマスレバ、學校デモナイ傳染病研究所ヲ文政統一ノ下ニ、職司ヲ明確ニスルコト言フ旨ニ於テ合セタト云フ理論ハ、殆ド誰ガ聞イテモ誰ガ考ヘテモ適當スル理由デナイト云フコトガ分ルデアリマス、加之假リニ文部大臣ノ言フガ如キモノデ、道理ニ合フテ居ルコトシテモ、行政ノ仕事ハ道理ノモテ行キマセウ、實際ニ於テ如何デアルカト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌ、私ハ未ダ今度新タニ拵ヘマシタ傳染病研究所ノ職務掌程ハ存ジマセウ、或ハマダ出來テ居ナイカト思フ、此傳染病研究所ノ仕事ニ於テ、例ヘバ赤痢ノ血清ヲスル、實扶的里亞ノ血清ヲスル、或ハ黒死病ノ豫防藥ヲ拵ヘル、或ハ痘苗ヲ拵ヘル、是等ノ如キハ内務省ノ醫事衛生機關ニ屬スルコトデアリマスガ、扱テ又一面ニ此血清ヲモット濃クスル、或ハ痘苗ノ勢ノナイヤツヲ強クスルコト云フコトハ、研究ノ範圍ニ屬スルデアリマス、然ラバ此研究ノ範圍ニ屬スルコト、サウシテ其醫事衛生ノ機關タル藥ヲ賣出ス仕事アルカト云フコトハ、相俟ジテ離レラヌモノデアリマス、此場合ニ於テ文部省ハ如何ニスルデアリマスカ、内務省ハ如何ナル所マデ管轄スルデアリマスカ、若シモ此ノ如クニシテ一ハ文部大臣ノ指揮監督命令ヲ受ケ、一ハ内務大臣ノ指揮監督命令ヲ受ケル、若シ不幸ニシテ虎列刺ガ非常ニ流行ルカラ、虎列刺ノ血清ヲ拵ヘル、或ハ黒死病ガ急ニ流行シテ來タ、或ハ霍乱扶斯ガ流行シテ來タ、或ハ天然痘ガ非常ニ流行シテ來タカラ、急ニ澤山拵ヘルト云フテヤツ場合ニ於テ、文部省ノ方デハ今研究ニ手放ナセズ、技師ハ研究ノ方ノ仕事ヲシテ居ルカラ、其方ハ少シ待ッテハ貰ハネバナラヌ、内務省ハ現在ノ場合ニ於テ、醫事衛生ノ機關タル效力ヲ發揮シテ急ニ造ッテ貰ハネバナラヌ、斯ウ云ツタヤウコトデ兩頭政治ニナッテ決シテ其間ガ圓滑ニ行クト云フコトガナイデアリマス、行政整理ノ目目的デアリマセウ、併ナガラ繁文縟禮ヲ省キ、事務ヲ簡捷ニスルコト云フコトモ、行政整理ノ一タラザルベカラザル譯デアリマス、然ルニ一省デ命令スモノヲ一ツノ役所ニ跨ラシテ、サウシテ、相互ニ兩省デ交渉シナケレバ仕事ガ出來ヌト云フ事實ニ現ハレルノハ、是ガ事務ノ簡捷デアリマセウカ、繁文縟禮ヲ去タト云ハレマセウカ、斯様ナ點カラ見マシタナラバ、如何ニシテモ此移管ト云フコトハ理由ヲ爲サヌデアリマス、ノミナラズ、傳染病研究所ノ經費ノ如キハ内務省ニ屬シテ居ル時ハ内務省ノ所管デアツタガ、今回ノ議案ヲ見テ見マス特別會計ニナッテ居リマス、特別會計ニナッテ大學ノ所屬ニナッテ居ルデアリマス、其結果私立研究所ガ出來テ、今マデ赤痢ノ血清ヲ賣ッテ金トカ、或ハ實扶的里亞ノ血清ヲ賣ッテ金トカ、或ハ痘苗ヲ賣ッテ金デ自分デ自活シテ行ケマセウカ、假リニ競争スルト云フコトニナッテ、又需用ガナイト云フコトニナル爲メニ收入ガ減ッテ來ルト、特別會計ハ其累ヲ醫科大學ニ及ボスコトニナルデアリマセウカ、此事ハ姑ク放ッテ置クトスルモ、今非常ニ天然痘ガ流行ル故ニ牛ヲ何百匹買フ、今實扶的里亞ガ非常ニ支那ニ流行シタカラ此血清ヲ賣ッテ金トカ、或ハ痘苗ヲ賣ッテ金トカ、斯ウ云フ所ノ國ノ人命ヲ濟度スル上ニ於テモ、又傳染病研究所ノ名譽ノ上カラモ拵ヘテ貰ナケレバナラヌ、此場合ニ於テハ或ハ臨時費ヲ出シテ内務省カラ馬百匹買フテ來テ仕事ヲシテ呉レ、斯ウ云フヤウニナッタ時ハ、私ハ特別會計ノ外ニ此仕事ヲ引受ケルト云フコトニナルノカ、或ハ特別會計ニ臨時ニ出シテ、ソレデケ種シテ仕事ガ出來ルモノカ、其邊ハ私ハ存ジマセウケレドモ、免ニモ角ニモサウ云フ複雑ナ關係ガ起テ來ルデアリマス、此複雜ノ關係ハ互ニ交渉シ合フ間ニ於テ藥ガ間ニ合ハナイ結果ヲ生ズルト云フコトハ略易キ道理デラウト思フデアリマス、而シテ私ハ此質問書中兩省ト書イデアリマスガ、文部省ハ存ジマセウ、内務省ノ方ニ於テハ醫事雜誌記者若クハ傳染病研究所ニ關係ノアル者ガアッテ、丁度内務次官ニ

勅令ノ出ヅル以前ニ於テ、サウ云フ噂ガアルカト聞イテ見タラ、斷シテサウ云フコトハ知ラヌ、又相談ヲ受ケタコトガナイ、サウ云フコトハアルベキ筈ガナイト云ッテ、勅令ガ出デカラ初メテ之ヲ悟ッテ、非常ニ驚イタト云フコトヲ聞イタデアリマス、下岡次官ハ恐ラク此處ニ居ラレマセウケレドモ、紳士トシテサウ云フコトハ言ハヌトハ仰セラレマスミシ、又之ヲ聞イタ人ガ他ニ澤山アルデアリマス、サウスルト云フコト、此事ハ大隈伯ガ——内務大臣ト文部大臣トガ交渉ヲサレテ、コノ行政整理ノコト、若クハ移管ノコトニ付テハ少シモ關係ニ話サナカッタモノト認メラル、ノデアリマス、成程大隈伯ノ所謂最高ノ權力ニ依ッテ内務大臣ニ與ヘラレタル——持ッテ居ルコロノ最高權力ニ依ッテ之ヲ爲スト云フコトハ、ソレハ當リ前デアリマセウ、併ナガラ大臣神ニアラズ、萬能ニアラズ、少ナクトモ一省ノコトヲ改革ヲシヤウト思ウタナラバ、全部ノ屬官悉クニ相談スルノ必要ハナクトモ、己レノ信任ニテ少數ノ機關ヲ作ッテ省內ヲ圓滿ニヤッテ、サウシテ小言ノナイヤウニ樂ニ往キヤウニ都合ニ往キヤウニ圖ルト云フコトガ、行政整理ノ私ハ仕事トシテ當然ナ道行キデアラウト思フ、然ルニ此事ガマルデ次官以下ノ屬僚ニ更ニ諮ラズシテ、内閣閣議デ極メテシマッテ、勅令ガ出デカラ知ッタト云フヤウナコトガ、果シテ十分圓滑ナル行政整理ヲ遂ゲルノ途デアリマセウカ、又少ナクトモ屬僚ハ屬僚デアラカラ、大臣ノ權內デ勝手ニスルト云ヘバ免ニ角モ、事務ニ精通シテ居ル屬僚ノ或ル部分ニ話シテ、サウシテ圓滑ニシナケレバ事務ニ精通スル屬僚ハ、縱令其身屬僚タリト雖モ馬鹿々々シイ、自ラノスル仕事ヲ何ノ一言モセズボツボツ變ヘラレヤウナコトヲサレテハ、不快ニ思フコトハ當然デアラウト思フ、而シテ役人デモシテ來タ者ハ少ナクモ其味ヲ知ッテ居ルコトデアラウト思フ、斯ノ如ク不快ニサセタ屬僚ヲ使ッテ其事務ガ圓滑ニ往キマセウカ、進行シテ往キマセウカ、人ヲ使フノコトナ使ヒ方ヲシテ往クデアリマセウカ、大臣ガ人ヲ使フノハ斯様ナ使ヒ方ヲ爲スベキモノデアリマスカ、此點ニ於テ私ハ甚ダ其結果ガ面白クナイト思フデアリマス、ノミナラズ決シテ吾輩ハ相談セザルベカラズト云フコトハ私ハ申サヌデアリマス、又一木文部大臣ガ同志會デ演說サレテ居ルトコロヲ聞キマシテモ、左様ナコトヲ一々相談シテ居タラ仕事ガ出來ナイ勝手ニヤツタト云フ様ナ御演說モ見エテ居リマス、成程悉ク相談スルト云フコトハ煩雜デス、又小言ガ起ッテ出來ニクイ所デアリマセウ、併ナガラ幾分少數ノ信任スル機關ハ拵ヘナケレバ、神ノ如キ萬能ナル者デナケレバ出來ヌト云フコトハ當リ前デアリマス、況ヤ此傳染病所長ノ北重博士ノ如キハ、今日衛生局長ヲシテ居ッテ、又明日ハ何長ニ代ハルトカ、或ハ知事ニ代ハルト云フ事務ノミシテ居ル者デナイノデ、少ナクトモ此傳染病研究所長タル役目ト、サウシテ北里トハ離ルベカラザル歴史ヲ持ッテ居ルデアリマス、一木文部大臣ハ內容ハ變ヘナイ、研究ニ向ッテモ少シモ損害ハナイ、唯事務ヲスルダケノ所管ヲ換ヘルノ、學者タル北里ニ相談スル必要ハ何モナイ筈ダ、斯ウ云フヤウナ答辯ヲサレテ居ルヤウデアリマスガ、成程學者タル北里ニ相違ナイ、併ナガラ傳染病所長タル北里博士ハ、傳染病所長タル職務ノ責任ヲ持ッテ居ルデアリマス、故ニ此職務ノ責任ヲ執行スル上ニ於テ責任ヲ盡ス上ニ於テ、兩頭政治ニ互ツタヤウナ仕事デハ、速モ或時ニハ間ニ合ハナイカラ、斯様ナコトハ面白クナイ、一省ノ事トシナケレバナラヌト云フ、左様ナ意見ヲ持ッテ居ラヌニモ限ラヌ、然ラズンバ木偶ノ坊デアル、人間デナイデアリマス、然ルニ屬僚タモ二三ノ者ニ相談シナケレバ善イ仕事ガ出來ナイシ、又不快ノ急ヲ起サセルノニ斯ノ如ク明治二十五年以來カラシテ此研究所ニ喰ヒ付キ、而モ其人ガ創設セル歴史ヲ持ッテ居ル此研究所所長ヲ、何等一應ノ便不便モ聞カナクテヤルト云フコトナラバ、マルデ人ハ人間扱ヒラセズニ機械扱ヒラサレタトシカ見ラヌデアアル、之ヲ不快ニ思フ權ニ障ルト云フコトハ當リ前デ、神經ヲ持ッ者ハ當然ナ話デアリマス、若シバン問題ニ困ッテ居レバ

不服ナガラニ、不平ナガラニ喰ヒ付キモシマセウケレドモ、男子ノ意氣ノアル者ハ斯ノ如キ處置ヲ蒙ルマデ、其位地ニ安シムルコト云フコトガ出來ナイノハ、日本男子ノ當然ノ行爲デアラウト思フデアリマス（「ヒヤ／＼」ト呼フ者アリ）而シテ是レアルカメニ北里所長ハ辭シタ、而シテ北里所長ニ屬スルコロノ六七博士ノ技師ガ皆辭シタ、或ハ技師ガ辭シタ、屬官ガ辭シタ、僅ニ殘ル者ハ受付ト小使ト看護婦ノミデアル、此ニ於テ文部省大ニ驚キ文部大臣大ニ驚キ、初メハ醫科ニ隸屬スル内閣極メテ居タノガ、今度ハ大學ニ隸屬スルノ醫科ニ隸屬セシムルデアナイ、特別機關トシテ醫科大學ト對立シタ天文臺ト同一ノヤウナ資格ニスルカラ留マデ吳レト云フコトヲ持掛ケテ、博士ニ懇談シタ云フコトヲ聞キマス、而シテ北里博士ハ拙者一人ノタメニ御考ヲ變ヘテ、サウイロイロ一二ニスルト云フコトハ政府ノ威信ニ關スル話デアリマセウケ、到底私ハ能ウ請合ヒマセヌト言ッテ、尙聞ク所ニ依レバ是ハ文部大臣カラ交渉シタカ、仲裁者ガ交渉シタカ知ラヌガ、大學ヲ離レテ文部大臣直轄ノ下ニスルカラ留マデ吳レト云フコトヲ言フテ來タト云フコトデアリマス、然ラバ此移管シタ後ノ結果モ何モ考ヘナクテ、唯ハ机上ノ上ノ理想論デ、是ガ決行サレタト云フヨリ外ナクテ、サウシテ職司ヲ明確ニスルデゴザイノ、文政ヲ統一スルノデゴザイノト云ウテ、強イテ無理無體ニ後トカラ理窟ヲ付ケテ算盤ニ合ハヌコトヲ致サレタトシカ見エナイデアリマス、私ハ此際ニ申シテ置キタイノデアリマス、是ハ事實若クハ言葉ノ上ニ現ハレテ居リマセウケ、私ガ察スルニ恐ラクハ其原因デアッタ思フ、内務大臣若クハ文部大臣モ亦其理想デアッタ思フノハ、確カニ此傳染病研究所ヲ文部省ニ移スト同時ニ、醫科大學ニ隸屬セシメ、此醫科大學ノ教授ト傳染病研究所ノ下ニ居ル所ノ學者ト、相互ニ交換シテ、相互ニ相談シテ研究ノ上ニモ研究シテ、非常ニ便利ナ仕事デアラウト云フ單純ナル理想カラ割出サレテ來タモノト思フデアリマス、是ハ最良目ニ見テ其通リト言ハレ、寧ロ其譯デアッタ言ハレハ一番近イ道理デアッタ、實際ソレデアラウト思フ、併シ是トモ——是レトモ内務大臣文部大臣ハ傳染病研究所ト云フモノ、特性ヲ知ラナイカラサウ云フコトガ起ルデアリマス、傳染病研究所ト云フモノハ——亞米利加ニ於テハ「ロクヘラー」ノガアリマス、佛蘭西ニハ「バスター」ノガアリマス、獨逸ニハ「コッポ」ノガアリマス、日本デハ又日本ノ傳染病研究所、是ガ最モ國際醫學間有名ナルモノデアリマシタデアリマスガ、「バスター」ノハ古ク建テ居リマシタガ、ヤハリ同ジ意味デアリマス「コッポ」ノハ立チマシタ時ニハ「コッポ」先生ハ伯林ノ醫科大學ノ衛生學ノ教授デアッタデアリマス、然ルニ此教授ヲ罷メテ特ニ傳染病研究所ヲ造ッテ、其首腦ニナッテ今日マデ此傳染病研究所ガ非常ニ發達シテ、サウシテ帝室カラモ非常ニ多額ナ金ガ下ガッテ、ア、云フモノガ出來タデアリマスガ、何故ニ此帝國大學ノ教授ヲ離レテ、傳染病研究所ヲ拵ヘナケレバナラヌカト云フコトガ、即チ傳染病研究所ノ特性デアリマス、醫科大學ノ組織ソレ自身ハ、傳染病ヲ研究スルヤウナ研究ハ出來ナイ組織ニナッテ居ルデアリマス、例ヘバ醫科大學モ衛生學ヲ研究ハシテ居ル、併ナガラ縱令微菌デケラ研究シタコロガ微菌デケテハ往カナイデアリマス、或ハ臨床上カラ考ヘナケレバナラヌ、或ハ病理學上カラ考ヘナケレバナラヌ、或ハ病理化學上カラ考ヘナケレバナラヌ、又種々ナル點カラ考ヘテ始メテ一論斷ヲ得ラレノデアリマス、然ルニ醫科大學ノ組織ハ元トノ生徒ヲ教授スルニアルノデ、其上カラ言ヘバ大學ノ教授悉クガ銘々

同ジコトデアリマス、同等ナ地位ヲ保ッテ同等ニ各教室ヲ掌シテ居ルデアリマスガ故ニ、衛生學カラ斯ウ云フコトヲヤッタカラ病理學上調ベテ吳レト云ヘバソレハ調ベル人モアリマス、又調ベル場合モアリマスガ、己レノ方デハモット外ノ仕事ヲシテ居ルカラ隙イデナイ、明イテカラデナケレバ出來ナイト云フコトヲ言ヒ得ルデアリマス、然ルニ傳染病研究所デ非常ナ偉大ナル力ヲ持ッテ居ル所長ガ、其下ニ居ル其部下ノ學者ヲ寄セテ、サウシテ一律ノ下ニ化學カラ調ベ、病理カラ調ベ、或ハ細菌カラモ調ベルト云フコトニナッテサウシテ研究スル、之ヲ名ケテ歐羅巴諸國デハ綜合研究ト稱ヘテ居ルデアアル、傳染病研究所ノ特性ハ此綜合研究ニアアルデアアル、醫科大學ニハ綜合研究ヲ許サヌデアリマス、何故ニ「コッポ」ハ醫科大學ヲ去ッテ、綜合研究ニ從事スル爲メニ「コッポ」傳染病研究所ヲ立デタデアリマス、豈啻傳染病研究所ノミナラス、神經病學ノ大家「サルコウ」氏ノ研究所ニ於テモ亦然リデアリマス、實際ニサウ云フノガ澤山アリマス、右様ノ次第デアリマス故ニ、非常ニ善意ヲ以テ又斯クアルベキ理窟ヲ付ケテサレタト云フ事情ヲ付ケマシテモ、醫科大學ニ屬シテ有無交換シ、教授相互ニ補助スルト云フコトハ、傳染病研究所ノ綜合研究ニハ障リハ有ッテモ、少シモ助ニナルコトハ無イデアリマス、若シ便利ト言ヒマシレバ、醫科大學カラ見テ便利ト言ヒマシレバ、醫科大學ノ學生ニモ此等ノ事ハ教ヘナケレバナラヌ、併ナガラ今日ノ衛生學ノ教室デハ「ゼルム」ヲ造ル或ハ豫防又ハ治療ノ藥ヲ造ル、ソレ等ノ事ハ一ツモ教ヘテ居ラヌ、拵ヘテ居ラヌ、サウ云フモノモ教授スルニ傳染病研究所ニヤッテ助手ニ使フト云フ方法ヲ執レバ、ソレハ便利ガアルカモ知レヌ、ソレダケノ便利ハアルカ分ラヌガ、教授相互ニヤルト云フコトハドウシテモ出來ヌデアリマス、此意味ニ於テ北里君ガ「コッポ」ノ教室ニ於テ、實扶掖利ノ血清ハ「ベリシグ」ノヲ發見シ、破傷風ノ血清ハ北里博士ノヲ發見シ、其時ニ於テモ北里君ガ留學シテ居タノハ二年ノ年期デ、モウ一年延ベレバ大ナル仕事ガ出來ルト言ッテモ費用ハ無シ、其時ノ衛生會副會長長與專齋君——會頭ガ其時健カ宮内大臣デアッタ思ヒマスガ、願ッテ御手許金カラ大日本私立衛生會ニ金千圓ヲ下附サレテ、ソレデ一年ノ留學ヲ續ケタノデアリマス、而シテ多大ノ技術ヲ持ッテ歸ッテ來テ、ソレカラ醫科大學ノ教授ヲ或ハカラ勸メラレタケレドモ、綜合研究ニ於テ醫科大學ノ「システム」ノヲ許サヌガ爲メニ、之ヲ拒絕シテ福澤諭吉、森利市左衛門等ノ贊同ヲ得テ、傳染病研究所ヲ造ッタデアリマス、大日本私立衛生會ハ此傳染病研究所ノ衛生ニ大ナル價值ガアルト云フコトデ、更ニ之ヲ大日本私立衛生會ニ屬シテ、私立衛生會デハ年々何千圓ト云フ金ヲ出シテ研究ノ發達ヲ助ケ、而シテ二十六年ノ初メニ議會ガ一万五千圓ヲ出シ、三十二年マデ續イテ、三十二年ニ國ノ傳染病研究所ニナッテ、彼ノ如ク發達シタト云フ歴史ヲ持ッテ居ルデアアル、斯ノ如ク歴史ヲ持ッテ斯ノ如ク成立シテ居ルコロノ北里博士ガ所長ニナッテ居ルノニ、一年カ半年デ彼方ニ飛ンデモ此方ニ飛ンデモ宜イ關係ト同一視シテ、ソレナコトヲヤレバ仕事ガ出來ヌカラ勝手ニヤッタト云フヤウナコトヲシテ、果シテ政府ノ最上機關ニ立ッテ世ノ中ノ信望ヲ繫イテ、快ク精神的ニ働ク人ガアルデゴザイマセウケ（「ヒヤ／＼」又「今ノ文部次官ハヤッテ居マス」ト呼フ者アリ）以上ノ如ク申シテ見マシレバ、移管問題ト云フモノハ殆ド理由ニ乏シク、且ツ理由ニナッテ居ナイデアリマスガ、是ハ姑ク措キマス、此移管問題ノ理由ノ當否ハ姑ク措キマシテ、而シテ其結果如何デアル、北里所長初メ屬官技手

マデ悉ク連レテ辭職スルヤ、文部大臣が後ヲ已ムヲ得ズ造ラネバナヌコトニナツタ、人ヲ拵ヘルコトニ困難シテ、又適當ナ人ト思フ人ハ逃出シ、ヤット集メテヤウノ人ヲ拵ヘマシタガ、其所長が此處ニ御座ル文部次官が事務取扱アルデ、此點カラ言ヘバ私ハ此「インストチュート」ハ傳染病研究所ノ建物ハ頗ル立派アリマスケレドモ、火事跡ニ「バラック」ヲ拵ヘタヤウナ現在組織ニナツテ居ルカト思フ、文部省ニ於テ職司ヲ明ニシナケレバナラヌト言ヒナガラ、其職員ノ二人ハドウデアリマスガ、陸軍カラ來テ居ルデアリマス、陸軍カラ豫備ニナツテ後ナレバ格別ノ話、豫備デハ困ルト云フコトデ、現職デ陸軍大臣ノ命令ニ依テ、文部省ノ傳染病研究所ノ技師ノ仕事ヲサセナレバナラヌヤウナ憐ムベキ有様ニナツテ居ルデアリマス（「ヒヤ」ノ「ト」呼フ者アリ）今北里博士ハ私立ノ研究所ヲ拵ヘルコトヲヤツテ居ル、而シテ私立研究所ヲヤツテ居リマスガ、ソレハ頗ル「バラック」デアリ、イロノ建物ヲ間ニ合セテトント燃跡ノ如クヤツテ居ル、故ニ私ハ此建物ニ向ツテハ、此私立ノ研究所ヲ「バラック」式ト稱ヘスト同時ニ、國家ノ傳染病研究所ガ組織ニ於テ「バラック」式ヲヤツト相對照シテ面白カラウト思ヒマス、以上ノヤウナ事實デアリマスガ故ニ、私ハ第一ニ聽キタイノハ斯様ナ遣方デ行政整理ヲシテ、サウシテ其遣方ガ適當ナ遣方ト思フカ否ヤデ、第二ニ於テ斯様ナ遣方ヲシテサウシテ人ヲ尋ネテ出來ナイヤウナ結果ニナツテ、退イタ人ガ文部大臣ノ口調デ言ヘバ事務ヲ取ツタノデ、ソレガ爲ニ怒ツテ居ルナド、云フノハ甚ダ面白クナイ、サウハ言ハレテ居ラヌガ、學者トシテ尊重シテ居ルニモ拘ラズ、去ルナドト云フコトハ穩カデナイト云フヤウニ言ハレテ居リマス、吾ハ殆ド學者ヲ尊重スル、學問ヲ尊重スル頭ヲ以テヤツタ仕事デハナイト思ヒマスガ、是ハ見方ト致シマシテ、デ此少ナクモ此去ラレタコトガ非常ナ惡シイ仕方デアル、「ストライキ」デアル、又「ストライキ」デアレバ明治維新カラ「ストライキ」が起ツタガ、是位奇麗ナ「ストライキ」ハ無イ、受附ト小使ト看護婦ノホカ殘ラヌヤウナ、内容ニ於テハ免ニ角、形ノ上ニ於テ「ストライキ」デアル、サウ云フ「ストライキ」ハ不埒デアルト云ツテ、懲戒的ニ免職サレルカト云ヘバ、ヤハリ金ヲヤツタリ位ヲヤツタリシテ居ル、此意味カラ言ツタナラバ、私ハ陸軍大臣ガ居レバ聽カウト思ヒマスガ、陸軍省ニサウ云フ冗員ガ澤山アレバモ此ト行政整理ヲヤツタナラバ宜カラウト思ヒマス、現職ノ儘デ傳染病研究所ノ仕事ヲサセルト云フガ如キハ、殆ド職司紊亂デアル、職司ヲ明確ニシテ職司ヲ明カニスルト云フガ如キハ殆ド文部大臣ノ言ヒ得ルコトデナイト云フ事ガ明カデアラウト思フデアリマス、併シ理窟ハ御互ニ何トモ附ケヤウガアリマスガ、少クトモ結果ニ於テ失敗デアッタト云フコトハ確ナ事實デアルト思ヒマス、仕事ヲシテ宜イト思ツタヤツタ、併シシツタ仕方ガナイ、何も惡意デヤツタノデハナイト云フコトハ、役人トシテ責任ヲ有スル者ノ言フベキコトデハナイカラ、此失敗ニ對スル責任ハ、内務大臣及文部大臣ハ如何ニシテ解除スルカト云フコトヲ聽キタイノデアリマス

○議長（奥繁三郎君） 次ニ進ミマス、山陰鐵道建設事業ノ進止ニ關スル質問——

五 山陰鐵道建設事業ノ進止ニ關スル質問（恆松隆慶君提出）

（恆松隆慶君登壇）

○恆松隆慶君 茲ニ山陰線及萩線ノ建設事業ノ進止ニ關シ、數項ノ質問ヲ提出致シ

官報號外 大正三年十二月十六日 衆議院議事速記第六號 山陰鐵道建設事業ノ進止ニ關スル質問ヲ提出致シ

マシタ、其大體ノ理由ヲ申述ベマスルガ、此表題ニ及萩線ノ「ト」云フ四文字デケラ脱シテ居リマシタノデ、此處デ挿入訂正ヲ致シテ置キマス、抑、此山陰鐵道速成ノ件ニ付キマシテハ、不肖等ガ二十年來此問題ニ就テハ熱心唱道シタ結果デ、漸ク島根縣ハ全通致シマシテ、又島根縣モ出雲國デケハ殆ド全通シテ居ルデアリマス、石見國ハ明春大田驛ト云フ處マデ僅ニ五哩バカリ開通スルノ豫定デアリマス、然ルニ石見國ハ全長約一百哩ノ長キニ互ル國デアルノニ、僅ニ五哩バカリ來春開通スルト云フヤウナ有様デゴザイマシテ、其一百哩ニ互ル全通ハ果シテ幾年ノ後ニ之ヲ期待シ得ベキカ、洵ニ憂慮ニ堪ヘナイノデアリマス、又島根縣ノ因幡ナリ伯耆、又島根縣ノ出雲國ト云フモノハ皆山陰道中ニ於テ最モ是ハ上國トスベキ地方デアリマスガ、石見國ハ僻陋ノ下國デアリマシテ、上國ハ既ニ鐵道ガ通ジマシタメニ、益々諸般ガ進シテ來マスルシ、下國ハ鐵道ガ無キガタメニ愈々世ニ後レマシテ貧富ノ懸隔其度ヲ過ギテ、一縣トシテ將來ニ對シマシテ統治シ難キ有様ニ陷ツテ居ルデアリマス、斯ノ如キ貧弱ナル石見ト雖モ固ヨリ納稅ノ義務ガアリ、又兵役ノ義務モアリマシテ一般ト均シク此義務ハ果シテ居ルデアル、斯ル場合ニ是等ヲ疎外シテ、鐵道ノ建設ハ動モスレバ計畫ヲ繰延ベ、又工事ヲ中止シテ是等ヲ實ニ等閑ニ付スルガ如キハ、一體如何ナル趣意デアルカ、政府ニ此解決ノ事ヲ大體ニ於テ質問シヤウト云フノデ、茲ニ數項ニ互ツテ其實ニ就キ御尋ヲ致スデアリマス、第一ニ問ハントスル所ハ濱田線中大田驛以西溫泉津驛ニ行クマデハ、僅ニ十五哩バカリノ處デアリマスガ、其間大田線ヨリ仁万驛マデハ今日ボツ／＼工事ヲシテ居リマス、仁万カラ溫泉津驛マデハ既ニ本年度中ニ工事ヲ續行スルト云フ都合デ、當夏土地ノ買収モ大濱湯里ト云フヤウナ處ハ、買収モ實行シ、馬路大國ト云フ二箇村ニ互ツテ土地買収協定中、俄然之ヲ中止セラレタノデアル、且起工ヲ見合セラレタノハ蓋シ何故デアルカト云ヘバ、戰亂ノ影響デアラウカト察スルデアリマスガ、大濱馬路ノ二箇所ニハ既ニ鐵道院ノ米子出張所ノ技師ノ出張事務所ヲ前年建設シテ居リマシテ、而シテ此大田ヨリ仁万及溫泉津マデ工事ヲ進メテ、サウシテ運輸ヲ進メルト云フコトデ、既ニ大濱馬路ノ此二箇所ニハ事務所ヲ建テ、居ルデアリマスガ、是等ハ今日ハ如何ナル有様デアルカト云ヘバ、鼠ノ棲家トナリ庭前草薙タト云フ有様デアリマシテ、是等ノ工事ノ起否何レニナルカト云フコトハ、地方一般ノ疑フ所デアリマス、又石見ノ國デモ海岸中汽船ノ定期寄港地ハ溫泉津濱田ノ二港アルノミデアリマシテ、鐵道ガ一度溫泉津驛マデ開通シマスレバ、石見東部ノ產業上焦眉ノ急ヲ救フト云フ有様デアリマス、若又戰爭ノ爲メニ工事ガ一時中止ニナツタト云フヤウナ有様デアリマスレバ、最早戰局ガ一段落ヲ告ゲタ今日デアリマスカラ、速ニ豫定ノ工事ニ著手シテドシ／＼工事ヲ進メテ宜カラウト思フデアル、之ヲ本年中ニ起工シ得ラレルデアルカ、若シ本年度工事ニ著手スルト云フ場合ニ行カナイト云フ事情ガアルナラバ、大正四年度ニ於キマシテハ仁万以西溫泉津驛ハ無論ノコト、淺利驛江津驛迄ハ工區ヲ分ツテ之ニ著手シテ、其竣工ノ年度ハ何レニ之ヲ定ムルカ、其確定ナル方針ヲ伺ヒタイノデアリマス、第二ニハ濱田ハ石見ノ中心樞要ノ地デアリマシテ、歩兵第二十一聯隊ノ所在地デアリマス、而シテ又特別輸出港ト云フヤウナ場所デゴザイマシテ、全國ノ聯隊所在地中ニ於テ鐵道ノ便ノ無キモノハ、唯濱田ト高知デアルノミト私ハ考ヘテ居リマス、現ニ今秋ノ陸軍特別大演

習ニ際シマシテモ、濱田聯隊ハ濱田ヨリ松江ヲ經、岡山ノ師團ニ達スル迄ノ間ハ數日間掛ッテ行ッタル云フ有様デ、此鐵道ノ無キガタメニ將卒ノ勞苦ハ實ニ察スルニ餘リアル次第アリマス、ノミナラズ動員上ノ遺憾モ亦實ニ思フベキ次第アリマス、若シ此鐵路ヲ濱田迄延長スルコトニナリマスレバ、單リ軍事上ノ大缺點ヲ除キ得ルノミナラズ、陸海ノ連絡ガ付テ産業上石見中部全體ノ急ヲ拯フコトニナルデアリマス、政府ハ既設鐵道ノ改良ニ偏重シテ、山陰未成線ヲ疎外シ、聯隊所在地ヲ閑却スルノハ如何ナル趣意アルカト云フコトヲ尋ネルデアリマス、現ニ本年度ノ豫算ニ依リマスル建設費及改良費トアツテ、改良費ガ下ニナッテ居ル、サウシテ二千八百萬圓ノ中僅ニ建設費ガ一千萬圓デ、改良費ノ方ガ倍以上乃チ二千八百萬圓使フコト云フヤウナコトニナッテ居ルデアル、餘リ此既設鐵道ノ改良ニ偏重シテ、未成線ヲ疎外シタノデハナイカト云フヤウニ私ハ感シテ持ッテ居ルデアリマス、今次又歐洲大戰ニ際シマシテ、露獨動員ノ遲速ニ甚ダ懸隔アルコトハ、畢竟兩國ノ鐵道網ノ疎密如何ニアルコトデアラウト思ヒマス、軍事當局者ハ固ヨリ是等ノ事ハ肝銘スベキ所デアラウト思ヒマスガ、今ヤ政府ハ増師計畫サヘモ斷行セントスル場合ニ方リマシテ、山陰線ノ完成ヲ悠々ニ付スルコト云フノハ全體如何ナル次第アルカ、江津以西濱田間ハ何年度ヨリ著手シテ何年度ニテ竣工シ、聯隊ニ一朝事有ルト云フ非常ノ場合ニ動員ノ便宜ヲ圖ルト云フコトハ、國家ノ軍事上海ニ必要ナル事デアラウト思ヒマス、又第二ニ山口縣山口ヨリ島根縣津和野ヲ經テ益田ニ達スル線路中ノ德佐隧道ト云フモノハ、田代隧道ニ次グノ難工事デアリマスガ、幸ニ田代隧道ノ開鑿工事ハ既ニ大ニ進ミマシタガ、併ナガラ德佐隧道ノ起工ヲ急ガザレバ津和野線ノ開通ト云フモノハ大ニ遲延スル有様デアリマス、是ガ石見西部及山口地方ト聯絡ヲ缺キ、該地方ノ民心ハ一日モ安センザル情況デアリマスカラ、政府ハ此德佐隧道ノ工事ハ津和野方面ヨリ著手スルノ方針ヲ執ルカ、果シテ然ラバ此著手ノ年度如何、第四ハ政府ハ山陰線中未成線年度割金額ノ繰延ヲ爲シタルモノ、如シ、果シテ然ラバ濱田線中江津濱田益田間、津和野線中ハ津和野益田間、此年度割ヲ明示セラレンコトヲ望ムデアリマス、又秋線ハ測量モ既ニ完了シタノデアリマセウカ、何故ニ未ダ著手セラレヌカ、既定ノ計畫ハ立ッテ居ルガ、未ダ何等ノ建設ノ計畫ガ立ッテ居ラヌ、又是等ニ對シテ政府ハ如何ナル方針ヲ執ラレカト云フコトヲ尋ネタイデアリマスガ、今日ハ此席ニ鐵道院總裁モ見エテ居リマスガ、別ノ事ヲ此處テ言ウテ胡麻化演說ナドハ斷リマス、デドウツ書面テ具體的ニ答辯ヲ望ミマス、吾々ハ年々建議ニ請願ニ陳情ニ此事ヲ申シテ居リマスガ、イツモヤリマスト云フコトハ、極リ文句デアル、全體當局者ノ舌ノ端ハ劇藥デモ付ケテ、サウシテシカリシタ答辯ヲ得スト、當リ前ノ運動ハ陳情デハ、吾々モ毎年々々ツコトヲ、ヤハリ政府モ毎年々々抛ッテ置クノデハナイ、ヤルナド、云フケレドモ事實ハヤッテ居ラナイデアリマスカラ、今度ハ舌ノ端ヘズト辛イトコロノ何カ劇藥ヲ付ケテ、本統ニ問違ナイトコロノ御答アラント切ニ私ハ希望スルデアリマス（拍手起ル）

○議長（奧繁三郎君） 日程第一、鑛業法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、提出者清水市太郎君

第一 鑛業法中改正法律案（清水市太郎君外二名提） 第一讀會

鑛業法中改正法律案 鑛業法中左ノ通改正ス

第八十一條第二項中金鑛銀鑛、鉛鑛及鐵鑛ヲ「金鑛、銀鑛、鉛鑛、亞鉛鑛及鐵鑛」ト改ム

附則

本法ハ大正四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（清水市太郎君登壇）

○清水市太郎君 本案ハ鑛業法ノ第八十一條第二項ニ「鉛鑛及鐵鑛等ニ付テ鑛產稅ヲ課セス」トアリマスルガ、此中「亞鉛鑛」ヲ加ヘタイト云フ精神デアリマス、其理由ハ亞鉛ノ用非ヤウノ廣イコトハ鉛鑛、若クハ鐵鑛ニ讓ラナイ、而シテ亞鉛ノ精鍊事業ハ極メテ幼稚デアリマス、化學工業ノ發達ノ獎勵保護スル御趣意カラ致シマシテモ、將又海外カラ輸入スルコト此精鍊亞鉛ヲ防遏致シマシテ、我帝國ニ於テ亞鉛ヲ精鍊スルコトガ出來ルト云フ上カラ致シマシテモ、此幼稚ナル亞鉛業ヲ保護スルタメニ、亞鉛鑛ノ鑛產稅ヲ課セナイコトニシテ賈ヒタイト云フ趣意ニ外ナラナイデアリマス、案ハ既ニ諸君ノ御手許ニ配付セラレテ居リマス、又詳細ナ事ハ委員會ニ於テ御尋ニモナリ御審議アラント望ミマス、諸君ノ御贊成ニ依ッテ速ニ法律ニナラント望ムデアリマス

（贊成々々ノ聲起ル）

○中村啓次郎君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

（贊成々々ノ聲起ル）

○議長（奧繁三郎君） 中村君ノ委員付託ノ動議ニハ贊成ガアルヤウデゴザイマス、且其委員ノ選舉方法、委員ノ員數ニ於テモ御異議ガナイヤウデゴザイマスカラ、總テ中村君ノ發議通り決定致シマス——日程第二、酒造稅法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、提出者三輪市太郎君

第二 酒造稅法中改正法律案（三輪市太郎君外一名 第一讀會）

酒造稅法中改正法律案

酒造稅法中左ノ通改正ス

第八條但書中「清酒ニ限リ」ヲ「清酒及味淋ニ限リ」ニ改ム

附則

本法ハ大正四年十月一日ヨリ同五年九月三十日ニ至ル酒造年度分造石稅ヨリ之ヲ適用ス

（三輪市太郎君登壇）

○三輪市太郎君 議題トナリマシタル酒造稅法中ノ改正案ノ提出者ト致シマシテ、改正ヲ要スル認メシタル理由ヲ簡單ニ申述ベマス、此酒造稅法中ノ第八條ハ諸君ノ御承知ノ如ク清酒ノ造石數ヲ檢査スルニ方ツテ、滓溜リ、タメニ清酒ニ限テ百分ノ二ヲ減ズルト云フコトニナッテ居リマスルガ、味淋ニ於テモ是亦等シク滓溜ノ生ズルモノデアル、以上ハ是モ清酒ト同様ニ百分ノ二ヲ減ジテ宜イト認メルノデゴザイマス、此味淋ニ滓溜リヲ引カナカッタ理由トシテハ、其當時價格ニ於テモ清酒以上ノ値段ヲ保ッテ居ッタノデゴザイマシテ、此稅法ノ制定サレル、即チ明治二十九年ノ頃ハ味淋ナルモノハ飲料ニモ用井ラレタモノデアリマスルガ、今日デハ種々ナル洋酒ノ輸入サレルタメニ中流以上ニ於テハ

全ク飲料ニスル者ガ、絶無ト云ウテモ過言デハナカラウト思フノデゴザリマス、隨テ價格ニ於テモ漸クニ清酒ノ中上位ノ値ヲ維持致シテ居ルノデゴザリマシテ、此モノニ一方ニハ清酒ハ百分ノ二ヲ引シナガラ、味淋ニ對シテ此引ヲ引シナト云フノハ平均ヨリ値段ヲ——此稅法ヲ制定スル當時ハ今申ス如ク値段ノ上ニ維持致シテ居タメニ、斯ウ云フ課稅ニナッテ居ルノデゴザリマシテ、本來言ヘバ酒精分モ多少ノ差ハアルカラシテ、此稅率ヲ異ニスベキガ相當アルガ、課稅ノ標準ノ複雜ヲ避ケルタメニ一方ニハ値段ガ上シテ居ルカラシテ、之ニ代ヘルニ引ナルモノヲセズニ同一ノ率ヲ課シタモノアルガ、右申上ケル如ク今日ノ値段ハ漸次味淋ナルモノ、値段ヲ引下ケテ參リマシテ、然ラバ此モノノミ引ヲ引カナイト云フコトハ甚ダ當ヲ得ナイモノアル、殊ニ味淋ノ引ナルモノハ清酒ハ百分ノ二ニ相當アルガ、味淋ナルモノハ實際ニ於テ百分ノ五位ハ引溜リノ出來ルモノデゴザリマス、又カラシテ之ヲヤハリ稅法ノ複雜ヲ避ケルタメニ、百分ノ五ノ引溜リノアルモノヲ、ヤハリ清酒ト等シク百分ノ二ノ引ニ致シテ置ケバ、中以上ノ價ヲ今日維持致シテ居ルモノ、是ハ相當ナルモノデアラウト思フノデゴザリマス、殊ニ此問題ハ大局ノ上カラ見レバ實ニ僅ナモノデアッテ、全國ノ造石數ト云フモノハ約二万石デアリマシテ、此百分ノ二ヲ引致シテモ僅ニ四百石アル、四百石ニ對スル課稅ノ問題デアッテ、誠ニ僅カナモノデアアルカラシテモ、當業者ニ取ッテハ是ハ負擔ニ苦シテ居リ、又不當ト知リシ、小問題デアアルカラシテ之ヲ顧ミナイト云フ譯ニハ往カナイカラシテ、本案ヲ提出致シタ譯デアリマスルガ、既ニ昨年此問題ハ議題トナッテ、委員會中ニ停會ニナリ遺憾ナガラ議了スルコトヲ得ナカッタ譯デアリマスルガ、ドウカ満場ノ諸君、本案ヲ御賛成アラントヲ希望致シマス

〔贊成々々ノ聲起ル〕

○中村啓次郎君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(與繁三郎君) 中村君ヨリ委員付託ノ動議並ニ其委員ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルト云フコトデゴザリマス、此二點トモ 御異議ガナイヤウデスカラ、中村君發議ノ通り決定致シマス——日程第三齒科醫師法中改正法律案ノ第一讀會、根本正君

第三 齒科醫師法中改正法律案(清水市太郎君外一 第一讀會)

齒科醫師法中改正法律案

第七條ノ二 醫師ニシテ齒科醫業ヲ爲サムトスル者ハ齒科醫術中特ニ齒科

充填術、齒冠繼續架工術、齒科有床義齒術及齒科矯正術ニ關スル試驗ニ合格シ内務大臣ノ免許ヲ受クルコトヲ要ス

第十一條中第六條若ハ第七條ヲ「第六條、第七條若ハ第七條ノ二ニ改ム

(根本正君登壇)

○根本正君 諸君、本案ハ齒科醫師法ノ不備ナル點ヲ改正スルモノデアリマス、即チ第

官報號外 大正三年十二月十六日

衆議院議事速記録第六號

齒科醫師法中改正法律案 第一讀會

七條ニ「醫師ニシテ齒科醫業ヲ爲サントスル者ハ齒科醫術中特ニ齒科充填術齒科繼續架工術齒科有床義齒術及齒科矯正術ニ關スル試驗ニ合格シ、内務大臣ノ免許ヲ受クルヲ要ス」第十一條中「第六條若ハ第七條ヲ」「第六條第七條若ハ第七條ノ二ニ改ム、斯ノ如キ改正案デアリマシテ、其理由ト申スモノハ現今ノ醫師法第十一條ニ免許ヲ受ケズシテ齒科醫業ヲ爲シタルモノ云々、三百圓以下ノ罰金ニ處スト明文ガアリマス、ツレニモ拘ハラズ偶々普通醫師ガ免許ヲ受ケズシテ危險ヲ冒シ治療ヲセントスルモノガアリマス、是ハ實ニ衛生上一大注意ヲ要スル問題デアリマシテ、既ニ先年治療ヲ過ッタル醫師ガアッテ、遂ニ檢事ノ起訴スルトコトナッテ、第二審ニ於キマシテ普通醫師ノ爲スベキ範圍ニアラザルモノト明瞭ニ判決ガ下リマシタガ、是ハ誠ニ當然ノ裁判ナリト信シマス、然ルニ大審院ニ於キマシテハ學術ト技術トノ見解ヲ誤リマシテ、第一審ヲ是トシ、是等ノ不審ノ判決デアリマシタ故ニ、内務當局ハ本法ニ對シ殆ド半信半疑ノ意見ヲ有シ、過日一般醫師ニ對シテ斯ノ如キ通牒ヲ致シマシタ、其大意ハ齒科專門ノ標札ヲ掲ゲ、若クハ齒科ニ紛ラシキ看板ノ下ニ治療ニ從事スルコト好マシカラズト云フヤウナ、誠ニ弱イ、即チ内務當局自ラ普通醫師ハ齒科醫業ヲ公然ナスベカラズト云フ意見デ、即チ法律ノ本旨ニ依ラズ、單ニ大審院ノ誤解判決ヲ隱然贊成シタルガ如キ誠ニ弱イ權威ナキ通牒ヲ發シタルデアリマス、此事實ニ於キマシテ政府當局ハ本案ノ改正ヲ促シ且ツ希望スルモノト判斷スルコトガ出來マス、元來本法第一條ニ於キマシテ齒科醫師免許ニ關スル資格要件ハ、一目瞭然タルモノデアリマシテ、左ノ資格ヲ有シ内務大臣ノ免許ヲ受クル事ヲ要ストアリマス、其第一ハ斯ウ云フコトガ書イデアリマス、文部大臣ノ指定シタル齒科醫學校ヲ卒業シタル者、第二ハ齒科醫師試驗ニ合格シタル者、第三ハ外國齒科醫學校ヲ卒業シ、又ハ外國ニ於テ齒科醫師免許ヲ得タル者ニシテ命令ノ規定ニ該當シタル者、斯ノ如ク資格モ明瞭ニ規定シ、普通醫師ノ範圍ニアラザルト云フコトハ何人モ一點疑フ容レコトハ出來ナイト思ヒマス、若シ普通ノ醫師ニテモ齒科醫師同様其試驗ヲ受ケマシテ、免許ヲ受ケタル者アリトシタナラバ、此齒科醫師同様其技術其技能ヲ認メテ手術ヲ營ムコトハ無論出來ルコトデアリマス、左様致シマスルナラバ何等之ヲ妨グルト云フコトハナク、加之本改正案ノ趣旨ト云フモノハ、他ノ醫師ノ實際出來ザル技術ヲ此法律ニ於テ限ルト云フコトデ、即チ第一ニ入齒ヲシタリ、第二ハ繼齒ヲシタリ、第三ハ金箔ヲ填メタリ、第四ハ齒竝ノ惡イノヲ矯正シタリスルヤウナ、此齒科ノ最重要ナル四點デアリマシテ、他ノ拔齒ノ術デアルトカ、或ハ齒牙漂白術、或ハ顔面整形の手術ト云フヤウナモノハ、他ノ醫師デモ齒科醫師同様治療スルコトモ敢テ異法デアイト云フコトヲ述ベデアアルデアリマス、内務當局ガ先日通牒致シタ意味ハ、多分是等ノ唯今申上ゲマシタルコトコロノ外ノ醫者デモ出來ルコトコロノモノヲ暗示サレタモノデアッテ、此前ニ申サレタルコトコロノ此大切ナルコトコロノ齒科充填術、或ハ齒科繼續架工術、又齒科有床ノ義齒術及齒科矯正術ト云フ此四ツノ點ハ含ンデ居ナイモノト私ハ信ズルデアリマス、併ナガラ此内務當局ノ通牒ナルモノガ此看板ヲ懸ケテハナラヌ、陰デヤルナラマア見逃シテ置カウト云フヤウナ、誠ニ確實ナラヌトコロノ通牒デアリマスカラシテ、或ル醫者ハ間違テ此範圍ヲ能ク認ムルコトナク、自分ノ職業外ノコトヲ免許モ受ケズシテヤリ、ツレガ爲メニ非常ナル害ヲ受ケテ衛生上ニ有害ナリト云フコトヲ輿論ガ認メテ居リマス、斯ノ如ク本

案改正ノ趣旨ハ明瞭完全ニ適用サレモノシタナラバ、醫師對齒科醫師問題ヲ解決致シマシテ、將來國家の衛生上無量ノ幸福ヲ得ルニ至ルト云フコトヲ確信スルモノデアリマス、諸君、願クハドウウ慎重御審議アルデ、此改正案ノ通過アラムコトヲ謹シテ希望致シマス

○中村啓次郎君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(奥繁三郎君) 中村君御發議ノ委員付託ノ動議、及ヒ此選舉ノ方法委員ノ數ハ別ニ御異議ハナイヤウデアリマス、御異議ガナケレバ中村君ノ發議ノ通り決定致シマス——日程第四、運河法中改正法律案ノ提出者齋藤珪次君

第四 運河法中改正法律案(齋藤珪次君外三名提出) 第一讀會

運河法中改正法律案

運河法中左ノ通改正ス

第二十一條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第二十二條 本法ノ適用ヲ受クル運河ノ用地ニシテ免許條件ニ依リ官有ニ歸屬シタルモノハ之ヲ運河經營者ニ下付スルコトヲ得

○齋藤珪次君 簡單デゴザイマスカラ此席ヨリ御許シテ願ヒマス、本案提出ノ理由ハ、現今ノ運河法ニ依リマスル運河ノ用地ハ其經營者ノ所屬ニ歸シマス、從ツテ運河ノ財團モ認メラレ、讓渡若クハ抵當等ヲ爲サントスレバ是等ノ條件ヲ提供スルノ自由ヲ許シテ居リマス、然ル所ガ運河法制定以前ニ於テ許可ヲ受ケマシタコロノ運河ハ、免許條件ト致シテ其用地ヲ國有ニ歸セシメテ居ルデアリマス、ソレ故ニ其運河ノ用地ヲ經營者ガ自由ニスル事モ出來マセヌ、從テ是等ノ讓渡ヲナサントスレバ、單ニ免許權ノ讓渡デナケレバナラヌト云フコトニナツテ居ル、然ルニ現行法ガ財團ヲ認メ用地モウヲ所有シテ居ルト云フモノニ比較致シマスレバ、前ノ經營者ハ洵ニ既得權ヲ害サレタルガ如キ有様デアッテ、サウシテ此財團等ノ恩典ニ浴スルコトガ出來ナイノデアリマス、ソレ故ニ此新法ノ恩典ヲ均霑セシムルタメニ、此用地ヲバ、起業者ニ政府ヨリ下付セシムルコトヲ改正ヲ致スノデアリマス、單ニソレダケノ改正デアリマス、殊ニ前議會ニ於テモ是ハ通過致シテ居ル案デゴザイマスカラ、是非御贊同ヲ願ヒタク存ジマス

○中村啓次郎君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

(「贊成々々」ノ聲起ル)

○議長(奥繁三郎君) 中村啓次郎君發議ノ委員付託ノ動議、竝ニ委員選舉ノ方法員數ニ付テハ御異議ハナイヤウデアリマス、御異議ガナケレバ中村君發議ノ通り決定致シマス——日程第五、印紙稅法中改正法律案——中小路與平治君

第五 印紙稅法中改正法律案(中小路與平治君外一名提出) 第一讀會

印紙稅法中改正法律案

印紙稅法中左ノ通改正ス

第五條ニ左ノ一號ヲ加フ

一 產業組合ヨリ其ノ組合員ニ發スル通帳

附則

本法ハ大正五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

(中小路與平治君登壇)

○中小路與平治君 私ハ印紙稅法中改正法律案ノ提出ノ理由ヲ簡單ニ説明シヤウト思ヒマス、本案ハ印紙稅法中第五條ニ左ノ一項ヲ加フト云フデアリマス、ソレハ產業組合ヨリ其組合員ニ發スル通帳、此一項ヲ追加致シタイ、ソレハ印紙稅法中ノ第五條ニ於テ、此通帳ノ印紙稅ヲ免除スルト云フノ趣旨デアリマス、既ニ諸君モ御承知ノ通り、產業組合ナルモノハ國家ノ產業ノ發達ニ又經濟ノ調節ニ於キマシテ重大ナル關係ヲ有スルモノデアリマス、ノミナラズ國民ノ信用道徳ノ上ニ於テモ亦有力ナル機關デアラルコトハ御承知ノ通りデアルト思ヒマス、就キマシテハ本案ハ三十一議會ニ於キマシテ、滿場一致ノ贊成ヲ以テ通過致シ、貴族院ニ廻付、委員審査中ニ會期終了トナリマシテ、遂ニ其目的ヲ達スルコトヲ得ナシタノハ甚ダ遺憾トスルトコロデアリマスガ、要スルニ此印紙稅ガ未ダ產業組合ニ免除セラレヌト云フコトハ、甚ダ組合經營者ニ於テ困難スル次第デアリマシテ、是非共其組合ノ發達上、此印紙稅ヲ免除シタイノデアリマス、既ニ政府ハ實施以來營業稅ヲ免除シ又所得稅ヲ免除シテ、組合ノ發達ヲ獎勵シ、アルノデアリマスカラ、是非共此印紙稅法ヲ改正シテ組合ノ發達ニ資シタイト云フ次第デゴザイマスカラ、ドウカ諸君ニ於テモ御贊成アラムコトヲ希望致シマス

○中村啓次郎君 本案ハ奥繁三郎君ヨリ提出致シタル印紙稅法中改正法律案ト、同一ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

(「贊成々々」ノ聲起ル)

○議長(奥繁三郎君) 中村君發議ノ委員付託ノ動議、且其委員ハ奥繁三郎君君提出ノ印紙稅法中改正法律案ノ特別委員ニ併セテ審査セシムルト云フ發議デゴザイマス、御異議ガナイヤウデアリマスカラ中村君發議ノ通り決定致シマス——日程第六、實用新案法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス——土方千種君

第六 實用新案法中改正法律案(伊東知也君外二名提出) 第一讀會

實用新案法中改正法律案

實用新案法中左ノ通改正ス

第九條 實用新案權ノ存續期間ハ六年トス

前項ノ期間ハ三年間之ヲ延長シ更ニ四年間之ヲ延長スルコトヲ得

第十四條第二項ヲ左ノ如ク改ム

實用新案權存續期間ノ延長ヲ請求スル者ハ每件登錄料トシテ第一回ノ延長ニ在リテハ金三十圓第二回ノ延長ニ在リテハ金八十圓ヲ納付スヘシ

(土方千種君登壇)

○土方千種君 本案ハ第三十一議會ニ於テ提出致シマシタ案ニ、修正ヲ受ケマシタ案デゴザイマス、三十一議會ニ於テ御手許ニ迴ッテ居リマス本案ト同一趣意ノ案ガ出

マシタ、然ルニ其案ニ對シテハ委員付託ニナリマシテ、其結果委員會ニ於テハ清水市太郎君ノ委員長ノ下ニ、同氏ヨリ更ニ修正案ガ出マシテ、其修正案ニ對シテハ政府委員モ亦同意ヲ表ハサレマシタ、全會一致ヲ以テ修正案ニ決シマシタノガ即チ今日ノ案トナツテ居ルノデゴザイマス、其案ハ既ニ二十一議會ニ於テ通過シマシタガ、遂ニ停會ノ間ニ成立ヲ致サナカッタノデアリマス、故ニ更ニ本案ヲ提出致シタノデゴザイマス、全體ノ理由ニ於テハ書面ニ詳シク書イテ居リマスカラ、尙不備ノ點ガアリマスレバ委員會ニ於テ御話ヲスル積リデアリマス、此案ハ要スルニ實用新案法特許法及意匠條例ト現行法トハ非常ニ懸隔ガアル、即チ實用新案者ニ對シテ、考案者ニ對シテ保護ノ途ガ餘程輕クナツテ居ル、實用新案者ニ對シテハ保護獎勵ノ方法ニ就テ特許法及意匠條例ニ相當スル、之ニ對照シテ少ナカラヌダケノ保護ヲ與ヘルト云フノガ趣旨デゴザイマス、詳シイ點ハ委員會ニ於テ説明スルコトニ致シマス、滿場一致ヲ以テ御贊成ヲ希望致シマス

○中村啓次郎君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成タケ〕ノ聲起ル

○議長(奧繁三郎君) 中村君發議ノ委員付託ノ勸諭、竝ニ委員ノ選舉方法員數等別ニ御異議モアリマセヌカラ、中村君發議ノ通り決定致シマス、日程第七、清國及朝鮮國在留帝國臣民取締法廢止法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、守屋此助君

第七 清國及朝鮮國在留帝國臣民取締法廢止法律案 第一讀會

清國及朝鮮國在留帝國臣民取締法廢止法律案
附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔守屋此助君登壇〕

○守屋此助君 諸君、吾輩ハ今茲ニ日程第七ト相成ツテ居リマス、清國及朝鮮國在留帝國臣民取締法ノ廢止法律案ノ理由ヲ述ベマシテ、諸君ノ御贊同ヲ得ント致シマス、諸君ノ御承知アラセラル、通リ、此法律ハ明治二十九年法律第八十號デアリマス、今ヲ距ルコト殆ド二十年前ニ發布サレタ法律アル、サウシテ其時分ハ遼東還附ト云フ事柄デ、日本國民ハ大ニ憤ツテ何ダカ物騒ナコトヲ朝鮮ヤ支那ノ方デシタル、國民ガ居ッテデアリマス、ソレヲ一時ノ權宜ノ處分トシテ時ノ總理大臣伊藤公、時ノ外務大臣陸奥伯ガ此法律ヲ發布スルコトヲ爲サレタノデアル、其時分ハ内ニ於テ之ニ似タ法律ガアッタノデアリマス、之ヲ似タ法律トハ何ゾヤ、此法律ハ第一行政處分ヲ以テ人民ノ住居權ヲ剝奪スル、朝鮮支那ニ於テ日本人ノ居住ノ權利、住居ノ權利ヲ行政處分ヲ關付スルコトヲ法律ナノデアル、所ガ其時分ハ内ニモ人ノ自由ヲ關付ノ法律、保安條例ト云ヒ豫戒令ト云ヒ、行政處分ヲ關付スル處分ガアッタ、ソレハ今カラ二十年前暗カリ政治ノ行ハレタ時分デ、所ガ星移リ物變シテ東洋ニ其時分ハ獨立國ノ朝鮮ト云フ國ガアッタノガ、今ハ日本帝國ノ領土トナツテ居ル、其時分ハ支那ノ國ニハ君主政體ノ清國ト云フ國ガアッタガ、今ハ共和政治ノ支那ト云フ國ニナツタ、此通リ外ノ形勢ガ變リ内ノ政治ノ様モ變リテ居ルニ拘ラズ、依然トシテ此帝國ノ臣民ノ住居權ヲ

關付スルコトヲ行政處分ノ法律ト云フ、此明治二十九年法律第八十號ガ殘ツテ居ル、是ヲ私ハ廢シタイト云フノデアル、是ヲ廢シマスルト云フ事柄ニ付キマシテハ、申上タルマデモナク是ハ人權蹂躪ノ法律アル、人權ヲ尊重セラレナイ國ニ何所ニ憲法政治ガアルノデアル、憲法政治ハ人權尊重政治、モウ一遍言換ヘバ人權尊重政治ニナルノデアルト考ヘル、此憲法政治下ニ居ル日本臣民ガ行政官ノ處分ヲ關付ニ此權利ヲ取ラレト云フ非立憲極點ノ政治ヲ受ケテ居ルノデアル、サウシテサウ云フ處分ヲ受ケタ者デガ非立憲ノ處分デ、人權ヲ蹂躪セラレタルコト云フニ處分ヲ受ケザル者モ非立憲ノ處分ヲセラレテ居ルノデアル、ソレハオカシイ話デアルケレドモ、朝鮮ヤ支那ニ居ル人間ニ、行政處分ヲ受ケル身ノ上ハ朝夕ヲ計ラズイッ何時左様ナモノガ落チテ來ルカモ知レヌト云フ畏怖心ヲ抱カシメル、是ガ實ニ由キキ一大事デアル、處分ヲ受ケタ者ハ何人カ何十人アルカ存ジマセヌガ、此一一般ノ臣民ニ畏怖心ヲ起サセテ置クト云フ事柄ハ、朝鮮竝ニ支那ニ向ッテ發展スル上ニ於テ如何ナル妨害ガアルカ、此事柄ヲスルノモ亦立派ナ領事トカ若クハ何トカ云フヤウナ方々ガ、一々目撃ヲ爲サレタルコトナラ宜シイガ、領事ノ管轄區域ト申スモノハ御承知ノ通りナカク廣イ、茫々トシテ數十里數百里ニ跨ツテ居ル處ガアル、此廣イコトデハ地方ノ巡查ガ見テ密告書ヲ領事ニ送ル、サウスルト一度ノ審問モシナイテ直ク行政處分ヲ退去ヲ命ズル、斯ウ云フコトニナルノデアル、斯ウナルカラソコドドウ云フコトデアルカト云フト、地僻ニシテ吏ニ權多シトハ千古ノ格言デ、ドウモ地方ヘ行クト如何ナル「ゼントルマン」デモ、如何ナル紳士デモ一巡查ノ權利ニ及バナイカラ、少シ氣ニ入ラヌト忽チ退去ヲ命ゼラレラカ「ゼントルマン」モ巡查先生ニ媚ラ呈セネバナラス、況ヤ外ノ者ニ於テヤヤデス、斯ウ云フ事柄ニナツテ居ルト云フノハ第一人權ノ大蹂躪デアツテ、サウシテ海外ヘ國民ガ發展スルト云フコトニ大妨害デアル、モウ一ツハ官民ノ調和ヲ缺イテ居ルノデアル、此法律ガ——何故ナラハ觸ラヌ神ニ祟リナシ、支那ヤ朝鮮ニ行ッテ居ル人間ハ日本ノ官憲ノ保護ヲ受ケルトカ、何トカ云フコトヲ言ッテ行クト云フト、何ダカイツ何時此保安條例退去條例ヲ突付ケラレラカ知レヌト云フノデ、頭カラ領事先生ニハ觸ラヌ神ニ祟リナシテ行カナイ領事ハ全體國民ヲ保護シテ發展サセルト云フモノデアルガ、言ウテ行カナイ、何レ言ウテ行ク人間ハ領事サンソレデハイケマセヌ、斯ウシナケレバ立チ行キマセヌ、斯様アルベキデゴザイマス何レ諫言耳ニ逆フコト云フニ違ヒナイ、言ハ直グ明治二十九年法律第八十號ト云フモノガ後ロニ控ヘテ居ル、是デハ怖クテ仕方ガナイ、サウスルト云フト先ッ此保護ヲ受ケルノガ當然デアアルガ、領事ノ保護ト云フコトハ受ケマイ、左様ナ物ノ所ヘハ觸ルマイ、斯ウ云フ事柄ニナル、觸ル奴ハイヤニ領事ガ威張リ巡查ガ威張ルカラ衝突ヲ起スノデアリマス、斯様ナ事ガアルノデ、此法律ガ今日存シテ居ルノハ、我輩ノ考デハ百害有リテ一利ナシ、斯ウ思フ、國ノ面目上人權ノ上カラ論シマシテモ國民ガ海外ニ發展スル政策上カラ論シマシテモ、斯様ナコトニ相成ルと思フ、是以上尙ホイロく此處デハ行ッテ害ヲ及ボシタ實例ハ澤山私ハ事實ヲ知ツテ居リマスガ、此處ニ一々申上タル事柄ハ今ノ時間ニナツテ諸君ニ倦厭ヲ來スコトデアリマスカラ恐入リマス、是ハ後日ニ委員會デ詳シク申上ゲマス、是デガ本案ヲ提出致シマシタ理由ノ大要デアリマスカラ、ドウカ御贊成アラシメテ祈リマス

○中村啓次郎君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(奥繁三郎君) 中村君ヨリ委員付託ノ動議カ出マシタ、且其委員ノ選舉方法及人數ハ中村君ノ御發議通り御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(奥繁三郎君) 御異議ハナイト認メマス、中村君ノ御發議ノ通り決定致シマス、日程第八、東方調查局設置ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、伊東知也君

第八 東方調查局設置ニ關スル建議案(伊東知也君提出)

東方調查局設置ニ關スル建議案

東方調查局設置ニ關スル建議案

東方ノ國情調査ニ關スル特別機關ヲ設ケ在朝在野ヲ問ハス廣ク其ノ事情ニ精通セル人士ヲ集メ完全ナル調査機關ヲ設ケ以テ我カ國對東方政策ノ根柢ヲ確立セムコトヲ望ム

右建議ス

(伊東知也君登壇)

○伊東知也君 本案ハ此前ノ通常議會ニ於テ、滿場一致ヲ以テ通過サシテ戴イタ案デゴザイマス、前議會ハ委員會ヲ通過シテ本會議ヘ掛ラウトスル時分ニ停會ニナリマシテ、通過ヲ見ルニ至リマセヌデシタガ、之ニ關スル理由ハ此前ノ議會ニ於テ申上ゲマシタ通り、私ハ少クトモ東方亞細亞支那其他ノ地方ニ於テハ、我外務省ノ遣リ方、外務省ノ調査ト云フモノハ殆ド的ニナラヌト云フコトヲ深ク信ズルノデアリマス、斷言スルコトガ出來ルモノト私ハ思フテ居リマス(就中現内閣)ト呼フ者アリ(現内閣デモ前内閣デモ其通りデアアル、外務省其モノガイカヌ、ダカラ私ヲシテ若シ當局ニ當ラシメタナラバ、外務省ナルモノハ改良シナクチャナラヌ(ヒヤ／＼)ト呼フ者アリ)特別任用令ヲ以テ(弱イ有爲ノ才ヲ拔擢シテ、支那ノ領事ナリ公使ナリ其者ヲ得ナカッタナラバ、到底此外交ハ宜シキヲ得ルコトハナイノデアリマス、併ナガラサウ我輩ノ思フ通りニナラヌ力ニシテ(「弱イコトヲ言フナ」ナル／＼)ト呼フ者アリ)先ヅ差當リ別働機關ヲ拵ヘテ、之ニ依テ朝野ノ經驗ノアル支那ナリ其他東洋地方ニ於テ智識ヲ持ッテ居ル人ミヲ集メテ調査ヲシ、或ハ實行スルト云フ方法ヲ講ジタイト思フノデアリマス、此前ノ支那革命變亂ノ時代、及引續イテ今度ノ支那ニ於ケル日本ノ行動其他ニ付キマシテモ、諸君ハ十分外務省ノ無能ハ御記憶ニナッテ居ルコトダラウト思ヒマスカラ、諄々シク詳シイコトハ述ベマセヌ、免ニ角全會一致ヲ以テ此前ノ通り御贊成アラシコトヲ希望致シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○中村啓次郎君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(奥繁三郎君) 中村君發議ノ委員付託ノ動議、竝ニ委員ノ員數、選舉ノ方法、別ニ御異存ナクハ中村君ノ發議ノ通り……

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○中村啓次郎君 議長

○議長(奥繁三郎君) チョット御待下サイ、中村君發議ノ通り決定致シマシタ——中村啓次郎君

○中村啓次郎君 議場ヲ見渡シマスルト定員ヲ缺イテ居ルヤウデアリマス、今日ハ是ニテ散會セラレンコトヲ望ミマス

○議長(奥繁三郎君) 定員ハ缺イテ居リマセヌガ、缺キサウデアリマスカラ是テ散會ヲ致シマスガ、チヨット御諮リ致シマス、決算委員ノ諸君ニ一言致シマスガ、第三十一議會ニ提出サレマシタ明治四十四年度歳入歳出決算ノ審査ガ未了ノ儘ニ相成ッテ居リマス、是ハ先例ニ依リマシテ此際審査ニ著手セラレンコトヲ望ミマス、尙報告ガゴザイマス

(書記朗讀)

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

衆議院議員選舉法中改正法律案

提出者 岸本 賀昌君 護得 久朝惟君

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

水産講習所移管ニ關スル質問

提出者 三浦 覺一君

○議長(奥繁三郎君) 本日ハ是ニテ散會致シマス、次會ノ日程ハ公報ヲ以テ御報告致シマス

午後四時三分散會